

令和7年度
(2025年度)

事業報告書

社会福祉法人

広島修道院

目 次

1 概況-----	2
2 令和7年度目標の取組みと結果-----	3～26
3 児童の状況について -----	27～51
4 相談事業の状況について -----	52
5 心理療法事業の状況について -----	53～55
6 学習指導促進事業の状況について -----	56～57
7 退所児童自立相談事業の状況について -----	58～60
8 各種保育事業の状況について -----	61
9 職員の状況について -----	62～82
10 北村基金の状況について -----	83
11 施設設備等の整備状況について -----	83
12 寄付寄贈について -----	84

広島修道院基本理念

広島修道院は、
「生命」を尊び、
「愛」を育みます

広島修道院々訓

忍 勤 清
和 儉 慎

1 概況

令和7年度のわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇の継続や中東情勢の緊迫化等によるエネルギー価格の高止まり、米国の通商政策による世界経済の不透明感の高まりなどから、先行き不透明な状況が続きました。

社会的養護の分野においては、平成29年8月の「新しい社会的養育ビジョン」に沿い、家庭・里親養育のより一層の推進のための施策が国や県・市で取りまとめられています。

広島修道院におきましては、令和6年4月に小規模・地域分散化の第一段階として、きずなの家分園を敷地外に開設しています。当院の家庭的養護推進計画では、令和11年度までに5棟の地域小規模児童養護施設を開設することとしています。これについては、土地取得等の課題もあることから、分園型も除外せずに実施に向けて検討を進めています。

里親委託の推進につきまして、令和3年度から広島市児童相談所からフォスタリング業務の一部を受託しており、里親研修、里親サロン、家庭訪問等の事業を実施しています。広島県からは、令和5年4月から西部里親支援センター業務を受託しています。令和8年度中には、児童福祉法に基づく里親支援センターの開設が全県規模で予定されていることから、これまでの実績をもとに、当院において開設認可が得られるよう準備を進めてまいります。

児童家庭支援センターにつきましては、令和5年1月に広島駅北口に事務所を開設以来、地域の子育て相談に多数対応してきており、地域の皆様から一定のご評価を頂いています。

社会福祉法人は、昭和26年に社会福祉法人制度が創設されて以来、各種の公的助成制度の助けもあり地域福祉の担い手として脈々とその機能を果たしてまいりました。

広島修道院も改めて創立の原点に立ち帰り、社会のニーズに応えるため幅広い業務分野への対応と専門性の向上を図り、地域における存在意義をなお一層高める努力を払ってまいります。

【注記】

本事業報告は、社会福祉法第四十五条の二十七第二項に定める「事業報告並びにこれらの附属明細書」として作成したものです。

2 令和7年度目標の取組みと結果

○ 法人本部

s	期待される水準を大幅に上回っている。
a	期待される水準を上回っている。
b	期待される水準を概ね達成している。
c	期待される水準をやや下回っている。
d	期待される水準を下回っており、大幅な改善が必要。

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項

・家庭的養護推進計画の推進に向けて、具体的な土地取得に向けた情報収集並びに地域小規模児童養護施設の運営方法等について現場職員も交えて具体的な検討をした。令和11年度末までの整備に向けて、引き続き取り組んでいくこととする。

※評価は(s)(a)(b)(c)(d)の5段階

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、 要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① ガバナンスの確立	ア 適正かつ組織的な法人運営の確保	・評議員会、理事会、監事及び理事長という社会福祉法に定められたガバナンス体制が確立し、適切に機能するよう法令を遵守した法人運営を行う。	・法定どおりの評議員会、理事会の開催招集通知の発送時期、計算書類等の開示、備え置き、議事録の作成・保管に関する規定等の遵守 ・適正な法人運営 広島市指導監査及び監事、公認会計士による指摘事項の有無	・関係規定に則り、招集通知の発送、計算書類等の開示を行った。 ・令和7年度広島市指導監査 文書指摘:0件、口頭指導:2件、 助言:1件	(b)	・法定どおりの評議員会、理事会開催実施 ・規定の順守、招集通知の発送、計算書類等の開示についても遅延無く対応した。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
② コンプライアンスの徹底	ア 法令や内部規程に則った法人・施設運営	・公益通報者保護等に関する規程等の研修・周知によるコンプライアンス意識の強化	・全職員を対象とした研修会の開催 公益通報、ハラスメント防止にかかる全職員を対象とした研修会の開催(年 1 回) ・公益通報、ハラスメント相談にかかる統計数値の理事会報告(年 1 回)	・令和 7 年 10 月に全職員を対象として計 5 回の研修会を開催し、148 人(参加率: 78.7%)の参加があった。 ・令和 7 年 6 月理事会で公益通報、ハラスメント相談に係る相談受付件数等の報告を行った。	(b)	・研修会は、育休中などやむ得ず参加出来ない職員を除き参加した。 ・公益通報:0 件、ハラスメント相談実数:1 人(内新規:0 人、継続:1 人)
③ アカウンタビリティの徹底	ア 事業運営の透明性確保	・ホームページ、WAM(福祉医療機構)ネットによる、業務運営や財務内容に関する適時適切な公表	・WAM(福祉医療機構)ネットによる適切な開示(令和 7 年 6 月)	・令和 7 年 6 月にホームページ、WAM ネットにより業務運営、財務内容に関する情報公開を行った。	(b)	・財務内容に関する情報について、WAM ネットにより情報公開を行った。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
④ 公益的な 取り組みの 推進	ア 新ビジョ ン 及 び 地 域の子育 て支援へ の対応と 拡充	・国の「施設地域分散化等加速化プラン」を踏まえた当院の家庭的養護推進計画の見直し検討 - 地域小規模児童養護施設、分園型小規模グループケア、医療的ケア児受入対応等の検討 ・必要に応じた社会福祉充実計画の変更対応	・家庭手の養護推進計画の見直し ・適時適切な変更対応等	・家庭的養護推進計画では、今後 5 棟の地域小規模児童養護施設(児童:4、きずな:1)としている。土地の取得等課題もあり、現きずなの家の分園型も除外せずに検討中。土地取得並びに運営形態他も院内で現場職員も交えて検討中 ・令和 7 年度決算においては社会福祉充実額は算定されなかった。	(b)	・現場職員内での協議並びに毎週の施設長会で、土地の取得について検討を行った。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
⑤ 職員の育成	ア 職員の資質向上	・人材育成、組織活性化のための人事交流、人事異動の定着化を推進する。	・意向調査の実施(年2回) ・施設間異動の実施	・令和7年6月と10月に意向調査を実施した。 ・意向調査も踏まえ、人材育成等のために施設間異動(5名)を行った。	(b)	・全職員の意向調査を確認し、人材育成等も鑑み施設間異動等対応実施した。
	イ 生涯研修規程の適切な運用	・OJT、OFF-JT、SDS(自己啓発援助制度)による職員の能力開発と育成に努める。	・OJTリーダーの任命(各施設最低1名) ・SDSの利用件数、支援金額(増減)	・各施設ともOJTリーダーを任命し、職員育成に努めた。 (児童ホーム:2名、乳幼児ホーム:3名、きずなの家:4名) ・令和6年度SDS利用件数、金額 36件、358,575円 令和7年度SDS利用件数、金額 27件、899,800円 対比 △9件、+541,225円	(b)	・職員育成の為に新入社員へのOJTリーダー配置 ・職員へSDSの認知・活用について促した結果、件数は減少するも資格取得への応募を主要因とし、金額は大幅に増加した。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
⑥ 経営の確保	ア 新ビジョンにおける多機能・高度化対応	・広島修道院家庭的養護推進計画の見直し検討等	・家庭的養護推進計画の見直し ・適時適切な変更対応等	・家庭的養護推進計画では、今後 5 棟の地域小規模児童養護施設(児童:4、きずな:1)としている。土地の取得等課題もあり、現きずなの家の分園型も除外せずに検討中。土地取得並びに運営形態他も院内で現場職員も交えて検討中	(b)	・不動産情報収集並びに現地確認を行い、候補地選定実施中。他に現場職員の意見も参考にしつつ、運営体制も含め検討中
	イ よりよい人材の確保	・実習生の受入強化と広報体制の強化 ・新卒学生向けリクルートの検討、導入	・各施設実習生(保育士他)の受入強化並びに採用試験への誘致強化 ・外部専門業者の活用、当院採用情報の広域展開 ・ホームページへの最新情報掲載	・実習生受入数/試験受験者数/採用者数 ・児童ホーム……………27 人/1 人/1 人 ・きずなの家(本園)…… 5 人/2 人/1 人(内 1 人は当院パート就業) ・きずなの家(分園)………4 人/0 人/0 人 ・乳幼児ホーム……………9 人/2 人/2 人(内 1 人は当院パート就業) ・保育園……………・0 人/0 人/0 人 総計 45 人/5 人/4 人 ・外部専門業者より情報収集を実施中。新卒採用・中途採用に分けて当院情報展開について折衝中 ・採用試験開催に伴い、採用試験案内で計 7 回更新。合わせて、保育園施設見学会開催を 2 回掲載	(b)	・実習生並びに施設見学受入、市中大学への積極的なアプローチの実施を行い、令和 7 年度新規採用人数は、21 人 引き続き優良な人材確保のために、今年度も継続実施 ・優秀な人材確保のために、当院の周知活動の継続並びに外部業者の活用、広報啓発活動は継続実施

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
			・広報啓発活動として各学校へ訪問・メールで案内実施	・各大学にて就職活動セミナーに参加し、学生向けに当院の業務内容他を説明し、質疑応答も対応 ・各大学のキャリアセンターを訪問し、担当者との面談実施 ・令和7年6月に乳児・幼児・保育・児童養護施設支援就職説明会に参加し、ブースを設けて参加学生に当院の現状並びに採用試験案内を実施		

○ 広島修道院

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項

・分園化から2年目となり、児童数が適正化され、概ね落ち着いた一年であった。職員体制の方は、年度途中の退職者や病休者が出るなど、シフト繰りが困難な局面もあった。しかし、児童の協力も有り、減った人数で日々の営みを守り、業務を完遂出来た事で、職員一人ひとりの経験値が上がり、力量が上がった年であったとも言える。サマーパーティー、餅つき行事へ、地域からの参加を呼び掛けた。初めての事だったので、参加者は2～3名と少なかったが、来場者は喜んでくれた印象。また11月に実施した、町内会と合同でのミカン狩り行事では町内から40名を超える参加が有り、とても喜ばれた。地域との相互理解と共存を目指して、この取り組みは継続したい。地域小規模児童養護施設設立に向けて、小委員会を立ち上げ、継続的に話し合いをしてきた。現場の「普通の地域での生活」を子ども達に提供したいという気持ちを基本に置いて進めた。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 一人ひとりを大切に する	ア アドボカン ー活動にお ける権利擁 護	・子どもが意見や考えを発信できるよう、日常的に後押しする。施設内で子どもが安心して話せる雰囲気作り。	・権利侵害の早期発見と対応(安全委員会聞き取り強化・アドボケイトの利用啓発)	・アドボケイトの請負団体である「チャイルドラインひろしま」との連携は出来ている。	(b)	・子どもがアドボケイトに行きたがらない。
	イ 生活に根 差したライフ ストーリーワ ーク 生い立ちを 語り合う機会	・子どもと一緒にアルバムを整理し、思い出を振り返る時間を設ける。子どもの生い立ちを知る。名前や誕生日を大切にする。	・応援面接の活用の強化 自立支援計画の見直し(年2回)	・応援面接は出来ている。児相と協力し2件実施	(c)	・アルバム整理の時間が取れず。 ・生い立ちの整理について職員の研修は実施
	ウ 個々の経 験を豊かに	・生活の中で発達支援を行う(遊び・日常生活の工	・感覚遊び・手伝い・整理整頓・社会スキル・感情表	・知育玩具や、カードゲームなどを一緒にや	(b)	・集団で遊ぶことが多く、

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
	する取り組み	夫等)。 ・一人ひとりにあった学習支援	現のサポート等を日常に取り入れる。 ・コグトレ・公文の目標設定	る時間を設けた。トラブル時に子どもの感情を言語化することを援助した。 ・Webでの塾の活用が定着 ・公文についてはしっかりと根付いている。		課題が残る。 ・学習については、学校との連携を取っている。 ・女子高校生が英語の個別学習に取り組む。 ・コグトレの裾野を広げる事がこれからの課題
	エ 自主性を高める取り組み	・日用品の個別化を適度に行う、選ぶ機会・適切な管理 ・子どもの意見を養育方針に反映 年齢や発達段階に応じて、自己決定の場を増やす。選択肢の提示	・自分のものを持つ喜びを大切にする。満足度調査の実施 ・子どもミーティングの開催 ・ソフトボールのメンバーで練習計画立てる。	・個別対応で買い物外出の機会を設けた。満足度調査は未実施 ・所持品の個別化は進んでいる。 ・ソフトボールの取り組みは出来ている。	(b)	・昨年と変更なし。
② 育ち合う生活創り	ア 子どもの育ちと職員の資質向上の相乗効果	・季節行事を子どもと企画。職員の特技を活かした活動 ふれあいキャンプ・歩行訓練・節分・かるた大会 ダンス・書道 等 ・施設紹介動画を公開	・行事の中に子どもに主体性と協調性を育む視点を追加 ・子どもの経験値を上げる取り組み(習い事や地域活動への参加)を積極的に取り組む。 ・施設への理解を深める。	・行事内での子どもの役割を明確化出来るものも有った。 ・季節行事や地域行事には積極的に参加出来ている。 ・研修等の間時間で、NHK の出演 DVD を	(b)	・ホーム旅行では子どもの意見をしっかりと取り入れた。 ・招待、慰問の多い年であった。2年振りに歩行訓練を実施。 ・動画作成までは至ら

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
	イ 皆で取り組むリクルート	・実習生対応を工夫し、学びと関係構築の機会を増やす。 ・アルバイトの活用と条件提示	多様な人材を確保する。 ・実習生対象にミニ講座実施。大学サークルに活動場所の提供 ・ショートステイの夜間対応・夕方、短時間のアルバイト募集	流した。 ・出身大学の学生に先輩として講話する機会を2度実施 ・大学のゼミと連携した体験活動を実施 ・学生アルバイトを積極的に受け入れた。	(b)	ず。 ・先輩の話はとても好評であった。 ・訪問先の大学から、一名採用に至った。 ・遠方の学生に対して、当院での宿泊でのアルバイトを実施。(今年度新規採用職員)
③ 社会資源としての機能強化	ア 地域のニーズに応じたショートステイの受け入れ	・要支援ショートステイの相談にも対応 ・ショートステイマニュアルの見直し検討	・要保護児童対策地域協議会実務者会議への参加	・今年度は2回参加 ・ショートステイは人員不足などの理由で需要に追い付いていない実情 ・テレビに出演して現状と問題点を発信した。	(b)	・家庭支援専門相談員も参加した。 ・ある程度、利用理由を重視した受け入れが課題
	イ 地域行事への主体的な協力、参加	・お祭り、清掃活動、ボランティア活動・施設紹介ブース・共同ワークショップの開催	・施設と地域との連携強化	・今年初めての試みで、地域とのバス遠足を実施。サマーパーティー、餅つきへの参加を近隣住民に呼びかけたが、あまり来場が無かった。	(a)	・地域との協働は多い年であった。
	地域交流行事を企画(施設開放)	・卒院生が集う場所や地域住民が楽しめるイベントを企画・実施	・餅つき・花火大会等の地域開放	・OB 行事を2度実施。5月 BBQ、1月ボーリング大会 ・「ホームカミングデイ」令和8年実施に向け	(a)	・5月のOBバーベキュー大会に多数の卒業生が参加

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
	ウ ひかり、わかくさ、からふるとの連携	・本体施設の運用に合わせた連携支援を行う。円滑な運営	・それぞれの役割と強みを生かす目標の共有	て計画を始動 ・中堅・若手職員を中心に「地域小規模検討会議」が始動	(b)	・ひかりとの連携は今までよりも出来ている。 ・全体での取り組みに至らず。
	エ 施設の将来構想への取り組み	・地域小規模施設や分園型小規模 GC 等の事業展開に向けて研究する。	・中堅職員を中心に先行事例を研究したり、実地を見学したりする取り組みをする。	・施設見学も実施		

○ 広島修道院きずなの家

(本園)令和7年度の特徴・総括・特記・特筆事項
・令和6年度に共有された「年齢や個々の力に応じた役割や責任をもって、自主性を育てていく」という課題について、令和7年度は、出納帳記載、自力通院、ごみの分別など、各部屋で子どもの年齢や状況に応じて小さな役割や責任を持たせていくことに意識的に取り組んだ。また、威圧や暴力が課題となった子どもとは、毎晩一対一の振り返りの時間を持つなど個別対応にも力を入れた。各部屋に高3生がおり、希望進路の実現に向けて計画的に取り組んだが、とりわけきずなの家立ち上げ時に最年少だった女子2名が自立への不安から情緒が不安定になり、他児の安心安全が守られない状況がみられたため、別室対応で個別の関りを強めて支援することで、落ち着いて自立準備に向かうことができた。男子高3生は部屋のこども間の関係性調整に力を発揮し、良いモデルとなった。最終的には、3名の高3生が施設生活に対して肯定的な感情を示す中で送り出すことができた。

(分園)令和7年度の特徴・総括・特記・特筆事項
・令和6年度に共有された「他世帯のことがわかりにくい」という課題について、引継ぎの重なり時間を作る、フロア会議・係会議の設置、分園全体行事实施などの取り組みで、職員の横断的な繋がり作りや所属感の向上に取り組んだ。子どもたちも分園での生活に一定慣れ、広い居室空間と個室というハード面の長所にも助けられ、他児からの刺激を受けやすく過干渉になりがちだった子に、一人で過ごす時間や落ち着く時間の増加、相談する力の向上などがみられた。一方で、生活に慣れたこと、職員・子どもとの関係性において距離がより近くなったことで、それまで抱えていた不安全感や感情を出しやすくなり、とりわけ被虐待経験や発達特性があるケースで対応に苦慮する場面も見られるようになってきた。日々の育み(生活のケア)を大切に、子どもの良いところ・つよみに注目して、個別課題に職員集団がよく話し合っ取り組んでいくことが分園開園後3年目の課題となる。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの最善の利益の保証	ア 暴力のない安心で安全な生活	【本園】 ・縦割りの関係調整(年上から年下への過干渉や圧力の調整)に取り組む。 ・高3生会を実施し、将来についてや部屋の	・安心度スケール年平均(中高生 6.5 以上、幼少 7.5 以上) ・高3生会の実施(年4回)	・安心度スケール平均値 中高生 5.9、幼小 7.7 ・縦割りの関係調整、どの部屋も年長児(高校3年生)の影響が大きい縦割り構成だった。小さい子への影響と言う意味でそれ	(b)	・年少時から、自分の気持ちをコントロールできるようになる支援が課題 ・見通しを持った計画

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
		ことを語り合う機会をつくる。 【分園】 ・安全委員会の(月 1 回)聴き取りの継続 ・子どもの落ち着く方法を一緒に考える。 ・自立支援面接、応援面接で、将来の希望を子ども自身がイメージして、現在を考える支援を行う。 【本園】 ・部屋会議(月 1 回)では、分かち合い(個々の良いところの共有)から始める。 ・子どもが自分自身の	指 標 ・安心度スケール年間平均値中高生 6.5 以上・幼少 7.5 以上 ・1人ひとりの落ち着く方法を掲示し全職員が周知 ・小学生から応援面接開始	それぞれの尊厳を守る対応に苦慮した。一方、子どもの目線で年少児を諭し大きな効果を生みその後の関係性が変化したという事もあった。 ・高3の会、3 回実施。ステップハウス利用の説明・振り返りを行った。子どものレベルに合わせた話ができ、普段聞けない本音がこぼせる空間になった。 【評価の基礎となった実績・事実又は状態】 ・毎月 1 回の聴き取りを継続して実施した。 ・安心度スケール平均値 中高生 7.55、幼小 8.38 ・毎月の聴き取りで、それぞれの「落ち着く方法」を確認している。 ・落ち着く方法を世帯掲示板に 1 世帯が載せている。全体周知は課題 ・小学生の応援面接を今年度から開始した。	(b)	を立て、それらを全体で共有して会の効果を上げることが課題 ・7月より担当外職員が聞き取りをすることで、子どもの声がより出やすくなった。 ・個々の「落ち着く方法」の意識化と実践が課題
	イ あたたかい家庭的養育環境と育ちあう集団づくり	【本園】 ・部屋会議(月 1 回)では、分かち合い(個々の良いところの共有)から始める。 ・子どもが自分自身の	指 標 ・部屋会議での「わかちあい」で、全児の良いことを共有する。 ・子どもの年齢・状況に応	部屋会議、全員での話し合いを毎月実施した部屋、一对一の話し合いを積み重ねた部屋など、部屋構成や子どもの特性に合わせ実施。全体で子どもへのメッセージとして良いところや出来たこと、頑張ろうと		・高3生の退所が迫るにつれ、社会的に求められる期待値とのギャップを痛感しな

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
		弱さや課題、苦手なことに対して向き合う力をつけていく支援をする。 ・子どもの年齢に応じた役割・責任が持てる支援をする。 ・子どもの写真整理とアルバムづくり。大事にされている感覚を育む。 【分園】 ・全体表彰会を新設し、お祝い会と併せて、できていることに肯定的な注目をする。 ・「育み(SCALE)」を継	じた役割・責任をもつ機会の増加 ・お祝い会(月 1 回)継続と全体表彰会を年2回実施 ・世帯別光熱水費表の作成と掲示	していることを伝え、個々に思いを聴き関係調整を図るなど工夫をした。 ・年齢に応じ、中学生には小遣い帳を自分でつけてもらう、高3生には通院等自分でできることを増やすと言った取り組み。また過去に暴力行為が課題となった子どもとの一対一の振り返りの時間を毎晩持つという事を継続した。また、ごみの分別、洗って捨てると言った小さな積み重ねを幼少期から馴染めるように取り組んだ。 ・写真整理は、新たな係を編成することでこれまで出来ていなかった整理作業に取りかかった。小学生以下は毎月保護者通信に写真を添えているので整理の機会になっている。	(b)	がら、個別対応を重視して準備を進めた。最終的には、3名共が施設生活への肯定的な感情を発信して退所することができた。 ・小さなことでも、当たり前に出来ていることに注目してほめることを積み重ねてより力にしていく。
				・お祝い会は概ね毎月実施できた。 ・全体表彰会は、夏のサマーパーティー表彰があり実地しなかった。3月に『まとめの会』を実施した。 ・子どもが楽しめることを日々の生活で職員	(b)	・お祝い会を毎月できなかった世帯があった。全体表彰会は3月実施してそれぞれの良いところを分か

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
		続し、子どもが年齢や状況に応じた役割や責任を持てるよう支援する。 ・光熱水費を算出して提示し、生活感覚や経済観念の育ちにつなげる。		が工夫している。 ・食事の手伝い、掃除、洗濯など年齢に応じて出来ることを増やすよう取り組んだ。 ・各世帯の光熱費の算出はハード面で難しかったことで作成と掲示は実施出来なかった。 ・食費(弁当費)の値上げ検討を個別対応したり、部活生に部活にかかる費用を具体的に伝え、考える機会とした。		ち合う機会となった。 ・『規範』と『育み』のバランスを考えていく。 ・経済観念の育ちに繋げる為に、部活や弁当代など食費についても具体的に伝えていく。
② 人材育成と専門性の向上	ア 職員の関係性の質の向上と集団づくり	【本園】 ・係会議を再編成し、職歴に関わらず提案・企画・実践が可能となる仕組みをつくる。 ・四季の会は一つにし、季節行事の企画を担当、全職員が運営できるようリードする。 ・リーダー階層が 2-4 年目階層へ基礎研修を実施する。	・係会議の再編による養育の質の向上	・係活動再編、四季の会(行事係)を1つにまとめ、これまで積み重ねてきた通年の行事を大切につないで一方で、メンバーが少なく毎月の実施が負担になった。 ・写真整理やLSWに関する係を創設 ・活動については①イ参照。加えて、入職者向け施設パンフレットは完成・ウェルカムブックは作成中 ・H 研から I 研②(循環型人材育成)へ、基礎研修実施。具体的なエピソードを基にした寸劇は伝わりやすかったが、岡本先生の講義があった上での研修でなければ内容の理解は不十分だと思われる。	(b)	・行事实施の意図を整理し工夫をするなど要検討 ・LSW(ライフストーリーワーク)、大きくとらわれず日常生活の中で子どもが知りたいと思った時に伝えられることを伝えると考えていく。研修は未実施となったため次年度の課題

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
		【分園】 ・フロア会議と係会議を新設し、横断的な職員のつながりを作りながら、養育の質を向上させる。 ・日々の引継ぎ内容のノート記入(又は PC 掲示板)を新たに導入し、より共有化を図る。	・フロア会議と係会議を(月 1 回)隔週で実施 ・職員同士が「何気ない話や相談が自然とできる」と感じられるノート又は PC 掲示板的運用	・フロア会議と係会議を交互に概ね実施できた。 ・係会議を設置したことで、新しい全体行事(BBQ、流し素麺、ハロウィン)が増え、みんなで楽しむことができた。 ・フロア会議で情報共有および具体的対応方法の共有ができた。 ・作成した引継ぎファイルを事務室に置き内容を共有した。 ・午前中のノンコンタ外タイム(重なり時間)を作ったことで職員間の会話が活発化した。	(b)	・フロア会議、係会議回数は少なかったが、他世帯の情報と対応の共有、職員の横断的な繋がり作りに有功だった。
③ 関係者とのつながりと連携	ア 共同子育ての家庭支援	【本園】 ・ウェルカムブックの作成(入所時子ども保護者説明用) ・ライフストーリーワークを意識した親子関係調整を行う。	・ウェルカムブックの作成と活用 ・ライフストーリーワーク研修の実施	・子ども向けウェルカムブックは作成中 ・入職者向けパンフレットを作成した。 ・親子関係調整、高3生はそれぞれが保護者の状況を一定理解し丁度よい距離感をとれるようになっている。中1女兒について、昨年度まで密に交流していた実母との関係を一定線引き、この先の関係性に見通しを立てられた。	(b)	・保護者向けウェルカムブック作成は未着手のため課題

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
		【分園】 ・初めに子どもの近況と写真を添えてお便りを送付し、保護者と子どもの良好な関係性づくりにつなげる。 ・対応に特に配慮を要する保護者への関わり方について検討し学ぶ機会を作る。	・毎月初に保護者通信『絆』を送付 ・ソーシャルワーク研修・ライフストーリーワーク研修の実施	・毎月のお便り、誕生日を祝う写真を各家庭に送付した。 ・各世帯で毎月写真を撮り、子どもの様子をコメントした通信を遅くとも第2週目にはお便りを送付した。 ・全体研修としても研修受講はできなかったが、『管理職・経営者のための苦情対応マネジメント研修』を主任、総主任、施設長で受講した。 ・配慮を要する保護者への対応について対応方法を随時検討し、より良い関係構築が出来たケースもあった。	(a)	・保護者が受け取って嬉しいと思える文面や写真を今後も意識していく。 ・全体として取り組むことが課題。 ・日頃からの気持ち良い挨拶をさらに心がけていく。
	イ 関係機関、地域とのつながりと連携	【本園】 ・「坂の下から修道院」を合言葉に、出会った方に必ず挨拶をする。ゴミを拾う。 ・分園をバックアップするという視点から、より	・地域の方から施設に対して肯定的な言葉が発せられる。	・地域行事(盆踊り、亥の子、町内清掃、夜回りなどなど)へ積極的に参加した。町内清掃では地域の方からお褒めの言葉をいただいた。	(b)	・分園のバックアップという視点は弱い。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
		地域行事に積極的に参加する。 【分園】 ・出会った方に、感じの良い挨拶をする。 ・地域行事に積極的に参加する。 ・隔月で地域清掃（南平台のごみ拾い）	・地域の方から施設に対して肯定的な言葉が寄せられる。 ・2カ月に1回定期的に子どもと職員が地域の清掃を行う。	・秋祭りで拾った餅を近所の方に自ら差し出していた子どもの姿がみられた。 ・地域行事に子どもだけでなく職員も一緒に参加し手伝いも積極的に行い、お褒めの言葉をいただくことがあった。 ・7月、12月は町内清掃、8月、10月に分園職員・子どもでボランティア清掃を行った。	(a)	・年間4回の町内清掃の実施ができた。

○広島乳児院

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項

・今年度は、職員の入れ替わりが多く養育の安定に課題がある中、組織内での判断の流れを整理し、運営体制の見直しを進めた一年だった。散歩など外出の機会を増やし、子どもたちの生活の充実につなげたほか、職員同士の対話を増やすことで、より良い支援に向けた土台づくりが進んだ。医療的ケア児の入所が続き、受入人数や体制整備の課題が明確となったが、看護師の判断範囲や保育・看護それぞれの専門性について整理を進めた。人材育成では中堅職員への定期面談により、連携意識の向上が見られた。権利擁護では不適切養育防止に取り組んだ。地域貢献では、行事参加を始め、一時保護、ショートステイ、里親支援等も関係機関と連携して実施し、地域とのつながりを広げた。要対協実務者会議への参加を通じ、預かり施設としての役割を超えて視野を広げる足掛かりの一年となった。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 応答関係・愛着の育み	ア 応答関係の構築	・丁寧な関わりを通じて情緒面の安定、応答関係を築く（乳児養育の充実）。 ・小グループ養育の中で愛着関係を育む。	・新館を活用し小グループ養育を充実させる。 ・基本的な発達の研修を実施し、個々の発達に応じた支援を行う。	・多動傾向のある子への対応が多く、食事中を含めサインの小さい子への関わりが十分とは言えなかった。一方で、育てたい姿の共有を行い、泣く子への丁寧な対応や気持ちの代弁を意識した関わりを職員間で実施した。	(a)	・職員の入れ替わりが多く、養育の安定には課題が残ったが、愛着形成を意識した関わりが少しずつ定着してきた。家庭交流のない子の思いを児童相談所につなげることができた。医療的ケア児の受け入れでは支援の道筋が整理された一方、受け入れ可能人数には限界があり、体制の見直しが今後の課題である。
	イ 愛着関係の育み	・職員間の共通認識を高め連携を強化し、養育の向上に努める。	・ケース会議の充実	・ケース会議では時間管理や議題の事前周知に取り組んだ。発言しやすい会議レイアウトを協議した。 ・医療的ケア児を受け入れ、入院対応を含めた支援を行い、関係機関と連携した。	(b)	

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
② 人材育成 人材確保	ア 職員の資 質の向上	・外部・院内研修の見直し ・中堅・ベテラン職員の 資質の向上	・中堅・ベテラン職員の OJT 面談の実施	・現場対応を優先する中で人材育成の時 間確保が十分とは言えなかったが、中堅 職員の育成に着手した。主任による定期 面談を実施し、部下育成とチームワーク向 上につなげた。 ・令和 8 年 10 月中四国乳児院協議会看護 師会の開催 ・循環型人材育成研修への参加 ・職員の外部研修を計画的に行い、会議で の報告も含め充実させた。	(a)	・新任職員の育成に比 べ、中堅職員の育成は 途上であるが、定期面 談により職員の意識や 連携に変化が見られ た。 ・看護師の主体的な学び が職員全体の学習意欲 向上につながった。ミニ 講座を実施した。
	イ こどもの権 利擁護の強 化	・権利擁護の意識を高 め、ネガティブな声か け、不適切な対応の防 止 ・オレンジの会の要綱の 見直しを行い聞き取り の充実を図る。	・オレンジの会の聞き取り を年 2 回実施 ・各クラスから不適切な養 育に関わる報告が上が ったら迅速に聞き取りを 行い、指導・助言を行う。	・権利擁護・倫理綱領の読み合わせを行 い、不適切養育防止に取り組んだ。	(b)	・オレンジの会の聞き取り 後の対応についてルー ル整理を行ったが、引き 続き権利擁護意識の定 着が必要である。
	ウ 実習生の 受け入れ、 指導態勢の 充実	・実習前のオリエンテー ションの充実、実習担 当職員による実習期間 中の振り返りと反省会を 丁寧に行う。	・採用試験受験へとつな がる実習	・安田女子大学の実習受け入れを再開し た。実習の振り返りの際、茶菓子を用意 し、ねぎらいを形にした。	(a)	・遅出、早出勤時等は、 宿泊利用を可能とし、受 け入れ機会の拡大を図 った。
③ 地域貢献	ア 育児相談	・児童家庭支援センター わかくさとの連携(育児 相談の充実)	・育児相談からショートス テイ利用へとつなげる。 ・退所後のサポートの充	・児童家庭支援センターわかくさや関係機 関と連携し、育児相談、一時保護、ショ ートステイ、レスパイトの受け入れを行っ た。	(b)	・個別相談への対応範囲 の判断が難しい中、発 熱時の迎え要請や自宅

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
	イ 一時保護・ショートステイ児の受け入れ体制の整備	- 一時保護・ショートステイ児の受け入れ体制の強化 - 一保強化児のアセスメントの充実	- 実（家庭訪問等） - ショートステイを適宜受け入れられるよう、各区子ども家庭相談コーナーとの連携強化 - 心理療法担当職員による一時保護強化児のアセスメントの充実	- 家庭訪問を関係機関と協力して実施した。 - 令和7年5月より、専用の部屋での受け入れの運用開始 - 要保護児童対策地域協議会実務者会議への参加を行った。 - 一時保護強化児の短期アセスメントを実施し、児童相談所へ報告した。	(b)	- 送迎について、わかぐさと連携して対応した。 - おひさま（一時保護児対応）職員の孤立を防ぐ体制づくりについて、引き続き検討が必要である。
	ウ 里親支援とフォスタリング事業	- フォスタリング業務の着実な実施 - 家庭訪問の実施 - 里親研修の実施 - マッチング件数増加への取り組み - レスパイト受入増加に向けての取り組み	- 里親委託後の家庭訪問を児相、からふると連携して実施 - フォローアップ研修の充実 - 児童相談所の里親支援員と協力し、マッチングの調整、家庭訪問の実施 - レスパイトの受け入れ充実のため児相、里親と連絡調整を図る。	- 里親実習の受け入れ数が増加。研修への参加機会を増やした。 - レスパイト利用の対象年齢を見直し、4歳児を含め利用可能とした。	(a)	里親委託後の情報共有が、現場の励みとなった一方、直前のレスパイトの要請への対応には課題が残った。

○ 広島修道院保育園

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項
・自然保育のアドバイザーを招いて学習会やフィールドワークを行ったり、園庭の学習会や園庭改造をする会議を行ったりして自然保育の学びや環境を考えていくきっかけができた。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 心身ともに健やかな子ども	ア 生きる力の基礎を培い、豊かな心を育成していく。	・年齢に沿った基本的生活習慣が自分からしてみようとして身につくよう、丁寧な援助と環境を作っていく。	・基本的生活習慣の表を活用して期案を立て実践していく。(4・5 月、6・7・8月、9・10 月、11・12 月、1・2・3月)	・プールの時期は、着脱などが身につくよう重点的行えた。その他の場面でも援助や声掛けを、個々にしていって、自分からしてみようと思えるように、じっくり待つ時間や環境づくりが、なかなか難しい。	(b)	・基本的生活習慣の表の活用が十分でなかった。クラス内や園内でやり方を共有していく。
	イ その子らしさが発揮される環境づくりを通して子ども主体の保育を創る。	・自由遊びの中で子ども自身が自ら考え、主体的に行動できるよう、子どもが自分でやりたいことを選べる環境づくりをしていく。	・1か月以上取り組みが継続できるよう環境整備の日を年に数回つくる。	・おまつりごっこからのお店屋さんごっこや廃材を使っの制作あそびが盛り上がり継続して遊べた(月・空組)。 玩具を自分で選んで出し入れしたり、自分のスペースを確保するのが難しかった(うさぎ・ひよこ組)。後半には、のりやハサミなどの制作コーナーを設けることができた(星・きりん組)。	(b)	・環境整備の日があることで、玩具や部屋の環境づくりができていたので、次年度もいれていく。 ・おもちゃの入れ替えを適宜行っていく。
② 人材育成	ア 職員の資質の向上	・加配の子や気になる子などの状態や訪問支援・研修での学びを共有できる場をつかっていく。	・情報共有の場を年4回、設定していく。	・加配職員や加配対象児に関わった職員での情報共有の場を設けることはできた。	(b)	・職員会議などで、園全体で共有できるようにしていく。
	イ 育ちあう職員連携づくり	・自然保育を充実させられるよう学びあう。	・春はフィールドに出て学び、秋はアドバイザーを	・春は、チームに分かれての散歩コースの点検、秋にはアドバイザーを招いて職員	(a)	・引き続き、自然保育の学びの場を作って

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
			呼んでの勉強会を実施する。(年2回以上)	研修を行い、その後に園児の遠足にも引率していただき自然からの学びを深めることができた。		いく。
③ 地域への 貢献	ア 地域への 子育て支援	・地域の子育て家庭に向けて、子育て情報を発信していく。 ・こども誰でも通園制度の検討を行う。	・きんさいの参加者に年齢にあった子育て情報を発信していく。 ・検討会の設置、実施	・きんさいの参加者は少なかったが、参加者には、子育て情報を発信できた。 ・検討会の設置はできなかったが、学習会(Zoom)やシンポジウムなどを聞き、検討していった。	(b)	・きんさい参加者が増えるよう広報していく。 ・子ども誰でも通園制度に手を挙げることは、難しいが、国の動向を意識していく。 ・引き続き、見てもらえる、読んでもらえる子育て情報を意識していく。
	イ 保護者支援	・保護者の自己決定を尊重しながら子どもの成長を喜び合える関係づくりをしていく。	・子育て支援情報を月に1度、貼り出す。(クラス担任・食農やリズムの担当など)	・子育て支援情報を玄関の掲示板(4つ切り色画用紙)や各クラス前の掲示板(A4)などにメリハリをつけながら貼り出して保護者に伝えることができた。	(b)	
					(a)	

○ 児童家庭支援センター わかくさ

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項

・児童相談所、こども家庭センター、教育委員会など関係機関における当センターの認知が高まっており、これらの機関を経由した相談ケース(相談人数)が増加傾向にある。令和7年度の相談件数は前年比で減少(4,973件⇒3,921件 △1,052件/年)したものの、相談人数は増加(253人⇒317人 +64人/年)しており、非常に多くの相談が寄せられている。また、令和5年度の行政監査において指導のあった援助計画の策定においてはジェノグラムを記載し、計画に基づいた支援をより充実させている。令和7年7月にはヤングケアラー・ピアサポート等相談支援事業を受託。令和7年度は試験的な取り組みでとどまっているが、マスメディアからの取材も多く、社会的関心を非常に感じている。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの最善の利益の保証	ア 民間支援機関であるわかくさの強みを生かす。	・相談員、支援員育成と資質向上のための研修の実施及び受講 ・相談記録システム活用による間接業務の効率化推進	・相談件数 年間目標 4,500 件 ・相談記録システム(オレンジ)の継続した活用	・年間の相談件数は、3,921 件であった。 ・「中四国児童家庭支援センター協議会 実績報告書の記入に関する勉強会」を受講したことを契機に、相談件数の計上方法を見直し、変更した。その結果、従来の集計方法と単純比較はできないものの、相談実人数は大幅に増加しており、相談対応数が減少したとはいえない。	(b)	・相談人数が大幅に増加したものの、利用者からの苦情やトラブルは1度もなかった。 ・ヤングケアラー相談においても記録システムを活用できるようにした。
	イ 家庭訪問を充実する。	・訪問支援対象者の適切な選定	・訪問支援事業実施世帯 年間目標 15 世帯 ・上記以外の宅食支援世帯 年間目標 10 世帯	・訪問支援事業実施年間で 9 世帯 ・その他宅食世帯、30 世帯	(b)	・訪問相談世帯数は増加しており、支援の充実が図られている。一方で、支援の発展が緩やかな家庭に対しては、より効果的なアウトリーチの在り方について検討が必要である。
				・4月～5月で援助計画の策定を行い、1月	(b)	・全職員が関与し、組織

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
	ウ 援助計画にそって支援をしていく。	・対象者別の援助計画策定	・援助計画の策定と実施状況 (注) いずれの目標も、数字には計上できないものもあり、相談、支援事業の本質を見失わないよう留意しつつ推進する。	～3月で支援の振り返りを行った。		として援助計画の策定・実施に取り組むことができた。
② 関係者とのつながりと連携	ア 関係機関、地域とともに支える。	・開催される要対協実務者会議すべてに参加する。	・要対協実務者会議への参加状況	・16回開催された要対協実務者会議すべてに出席した。	(a)	・全職員が一度は参加することができた。
	イ 関係機関、地域との情報共有を大切にする。	・年間50回以上関係者会議に参加する。	・関係者会議の参加状況	・66回の関係者会議に参加した。	(b)	・二区の実務者会議にてヤングケアラー事業の取り組みを紹介した。 ・親子関係形成支援事業を母子支援施設で開催。連携の強化につなげることができた。
③ 専門性の向上と人材育成	ア 人材育成と資質向上	・一人1回は外部の研修に参加する。 ・ヤングケアラー支援に対応できるための必要な研修を実施する。	・各種研修の実施及び受講状況	・外部研修には一人一回以上参加することができた。 ・ヤングケアラー支援事業の視察を目的とした施設見学を実施し、今後の事業運営に資する有意義な学びを得ることができた。	(b)	・今後、わかき主催の研修会の開催の検討や外部研修会において、実践報告や事例発表を行うことについて検討していく。

3 児童の状況について

(1) 入退所の状況

① 広島乳児院（定員 29 名）・※広島市一時保護委託強化事業（定員5名）

(単位：人)

月	措 置 児 童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初日 合計	充足 率 △ 初日 ▽ %	市一時保護委託強化事業					
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員				前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 数
4	19	18	2	2	19	550	6	6	4	4	6	152	0	0	9	8	1	29	731	24	83	3	3	2	0	5	121
5	19	19	2	1	20	608	6	5	6	5	7	217	1	1	4	5	0	11	836	25	86	5	2	4	5	4	135
6	20	21	2	1	21	628	7	6	5	5	7	178	0	0	4	3	1	26	832	27	93	4	2	3	3	4	85
7	20	21	2	0	22	672	7	6	2	4	5	166	0	0	6	6	0	21	859	27	93	4	4	0	1	3	102
8	22	20	1	3	20	620	5	4	2	5	2	75	0	0	9	9	0	21	716	24	83	3	3	3	2	4	102
9	20	20	0	1	19	595	2	2	4	1	5	115	0	0	7	6	1	14	724	22	76	4	4	2	2	4	86
10	19	20	2	0	21	642	5	4	2	5	2	119	1	1	3	2	2	8	769	25	86	4	3	2	3	3	123
11	21	22	1	0	22	660	2	1	3	2	3	64	2	2	6	7	1	15	739	25	86	3	3	0	2	1	70
12	22	22	2	1	23	712	3	1	2	3	2	37	1	1	8	9	0	25	774	24	83	1	1	4	5	0	50
1	23	23	1	1	23	699	2	2	1	1	2	74	0	0	17	15	2	37	810	25	86	0	0	0	0	0	0
2	23	22	0	3	20	591	2	2	3	1	4	84	2	2	18	18	2	48	723	26	90	0	0	0	0	0	0
3	20	20	1	2	19	578	4	4	4	3	5	155	2	1	14	16	0	40	773	25	86	0	0	3	2	1	22
合計	248	248	16	15	249	7555	51	43	38	39	50	1436	9	8	105	104	10	295	9286	299	86	31	25	23	25	29	896

広島乳児院の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護児童	ショートステイ	合計	広島市一時保護委託強化事業
前年度末数	19	6	0	25	3
本年度入所数	16	38	105	159	23
計	35	44	105	184	26
本年度退所数	15	39	104	158	25
本年度末数	19	5	0	24	1

※ 措置児童に短期措置（第 3 3 0 号厚生省児童家庭局長通知）含む

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

※ 広島市一時保護委託強化事業H 2 4 年度より委託開始（5 名定員）

② 広島修道院（定員 58 名）

(単位：人)

月	措置児童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初 日 合 計	充 足 率 △ 初 日 √ %
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員			
4	54	52	3	4	53	1546	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	2	11	1557	52	90
5	53	53	0	0	53	1612	0	0	0	0	0	0	2	1	8	10	0	22	1634	54	93
6	53	55	2	1	54	1616	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	28	1644	55	95
7	54	54	0	0	54	1673	0	0	1	1	0	11	0	0	7	7	0	15	1699	54	93
8	54	57	3	0	57	1736	0	0	0	0	0	0	0	1	14	14	0	36	1772	58	100
9	57	57	0	0	57	1680	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	11	1691	57	98
10	57	57	0	1	56	1736	0	0	1	1	0	6	0	0	2	2	0	4	1746	57	98
11	56	56	0	0	56	1680	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	7	1687	56	97
12	56	56	0	0	56	1708	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	11	1719	56	97
1	56	56	0	0	56	1674	0	0	2	0	2	22	0	0	4	4	0	9	1705	56	97
2	56	56	0	0	56	1512	2	2	1	3	0	15	0	0	3	2	1	8	1535	58	100
3	56	56	1	6	51	1622	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	1624	57	98
合計	662	665	9	12	659	9795	2	2	5	5	2	54	3	3	61	61	3	164	20013	670	96

広島修道院の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護児童	ショートステイ	合計
前年度 末数	54	0	0	54
本年度 入所数	9	5	61	75
計	63	5	61	129
本年度 退所数	12	5	61	78
本年度 末数	51	0	0	51

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

③ 広島修道院きずなの家（定員 42 名）

(単位：人)

月	措置児童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初 日 合 計	充 足 率 △ 初 日 √ %
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員			
4	40	42	2	0	42	1258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1258	42	100
5	42	42	0	1	41	1298	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1298	42	100
6	41	41	0	0	41	1230	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1230	41	98
7	41	41	0	0	41	1271	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	1275	41	98
8	41	41	1	0	42	1285	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1285	41	98
9	42	42	0	0	42	1260	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1260	42	100
10	42	42	0	0	42	1302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1302	42	100
11	42	42	0	0	42	1252	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1252	42	100
12	42	42	0	0	42	1302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1302	42	100
1	42	42	0	0	42	1302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1302	42	100
2	42	42	0	1	41	1158	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1158	42	100
3	41	41	2	3	40	1206	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1206	41	98
合計	498	500	5	5	498	5124	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	15128	500	99

広島修道院きずなの家の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護児童	ショートステイ	合計
前年度 末数	40	0	0	40
本年度 入所数	5	0	1	6
計	45	0	1	46
本年度 退所数	5	0	1	6
本年度 末数	40	0	0	40

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

(2) 入所理由別の措置状況

① 措置児童 (単位：人)

	理由	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
家族の状況	拘禁	0	0	0	0
	離婚・別居・死亡	1	0	0	1
	遺棄	0	0	0	0
	父母家出・行方不明	0	0	0	0
	養育放棄・拒否	0	0	0	0
	怠惰・放任	0	0	0	0
	虐待（疑）	0	0	0	0
	就労・生活苦	0	0	0	0
家族の疾病	精神疾患	0	0	0	0
	その他の疾病	0	0	0	0
児童の問題	児童の問題による監護困難	0	0	0	0
その他	その他	2	0	3	5
措置変更	併設施設	6	4	12	22
	他施設	0	1	1	2
合 計		9	5	16	30

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む

② ショートステイ（子育て支援事業） (単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
父母の入院・疾病	5	0	5	10
母の出産	0	0	2	2
父母の出張等	11	0	2	13
家族等の看護	1	0	1	2
冠婚葬祭	2	0	1	3
育児疲れ・不安	42	1	94	137
その他	0	0	1	1
合 計	61	1	106	168

③ トワイライトステイ（子育て支援事業） (単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
利用件数	0	0	0	0
延べ日数	0	0	0	0

④ 里親レスパイト・ケア (単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
利用件数	18	3	15	36
延べ日数	33	9	44	86

(3) 退所理由の内訳（措置児童） (単位：人)

理由		修道院	きずなの家	乳児院	合 計
措置解除	家庭引取	4	0	0	4
	養子縁組	0	0	0	0
	自立就職	0	2	0	2
	無断外出	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0
	自立進学	0	2	0	2
措置変更	併設施設	6	0	4	10
	他の施設	2	1	7	10
	里親委託	0	0	5	5
	その他	0	0	0	0
自然終了	期間満了	0	0	0	0
家庭引取	家庭引取	0	0	0	0
その他	その他	0	0	0	0
合 計		12	5	16	33

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む

(4) 年齢構成（男・女） 令和08年03月31日現在 (単位：人)

施設	年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18-	合計
広島修道院	男	0	0	3	2	5	2	2	2	2	2	1	5	3	2	0	1	2	1	0	35
	女	0	0	0	1	1	0	2	2	1	1	2	0	1	0	0	0	1	4	0	16
	計	0	0	3	3	6	2	4	4	3	3	3	5	4	2	0	1	3	5	0	51
広島修道院きずなの家	男	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	0	1	0	3	4	2	1	1	0	18
	女	0	0	0	1	1	1	3	0	3	2	1	3	0	2	3	0	2	0	0	22
	計	0	0	0	1	1	2	5	0	5	3	1	4	0	5	7	2	3	1	0	40
広島乳児院	男	3	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	女	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	計	4	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
合 計	男	3	3	8	2	5	3	4	2	4	3	1	6	3	5	4	3	3	2	0	64
	女	1	4	3	2	2	1	5	2	4	3	3	3	1	2	3	0	3	4	0	46
	計	4	7	11	4	7	4	9	4	8	6	4	9	4	7	7	3	6	6	0	110

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む

(5) 就園・就学児童の学年構成（児童養護施設） 令和08年03月31日現在 (単位：人)

教育 性別	幼 稚 園		小 学 生						中 学 生			高 校 生			大 学		合計
	年中	年長	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	
男子	3	5	2	4	3	1	6	3	5	4	3	3	2	0	0	0	44
女子	2	5	2	4	3	3	3	1	2	3	0	3	4	0	0	0	35
合計	5	10	4	8	6	4	9	4	7	7	3	6	6	0	0	0	79

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む

(6) 措置機関別の当年入所措置状況 (単位：人)

措置機関	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
広島市児童相談所	8	4	9	21
広島県西部こども家庭センター	1	1	7	9
合 計	9	5	16	30

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む

(7) 疾病の状況

対象期間： 令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 施設別、受診科別通院（入院）実績

区分	乳幼児ホーム (乳児)	乳幼児ホーム (幼児)	広島修道院	きずなの家	合計
小児科	98(12)	99	49	74(1)	320(13)
外科・整形外科	2	14	30	53	99
耳鼻咽喉科	56	132(1)	208	157	553(1)
皮膚科	26	44	126	127	323
眼科	11	14	46	27	98
歯科	0	21	64	91	176
療育センター	26	63	70	40	199
脳神経外科	0	0	11	17	28
精神科	0	0	70(1)	65(1)	135(2)
婦人科	0	0	5	0	5
その他	0	7	5	7	19
合計	219(12)	394(1)	684(1)	658(2)	1,955(16)
うち男性	145(10)	315(1)	450(1)	289	1,199(12)
うち女性	74(2)	79	234	369(2)	756(4)

※ () は入院件数の内数

(令和6年度 1,669(6))

2 受診科別の主な病名

区分	主な病名
小児科	急性咽頭喉頭炎、川崎病、喘息様気管支炎、突発性発疹症、感染性胃腸炎、 コロナウイルス感染症、インフルエンザ、肝機能障害、食物アレルギー、喘 息、鼻炎、便秘症、夜尿症、熱中症、溶連菌感染症、熱性痙攣、アデノウイ ルス感染症、尿路感染症、ウイルス性胃腸炎、てんかん発作 マイコプラズ マ肺炎 RSウイルス ウエスト症候群 硬膜下血腫
外科・整形外科	後頭部打撲、頭蓋内出血、上肢打撲 尿道下裂 顔面挫創 硬膜下水腫、靱 帯損傷、頭部外傷、前置肛門 両上肢骨折
耳鼻咽喉科	急性中耳炎、急性副鼻腔炎、滲出性中耳炎、外耳炎、耳垢塞栓、 鼓膜穿孔、アデノイド増殖症、感音性難聴、人工内耳
皮膚科	蕁麻疹、乳児湿疹、アトピー性皮膚炎、皮脂欠乏症、刺虫症、伝染性軟属 腫、ヘルペス 尋常性疣贅、尋常性ざ瘡、顔面外傷 カンジタ
眼科	近視、アレルギー性結膜炎、遠視、結膜炎、近視性乱視、眼鏡処方、麦粒 腫、間歇性斜視 未熟児網膜症 MRSA結膜炎
歯科	齲歯、歯肉炎、歯石、歯垢、外傷性歯肉炎、歯列不正、抜歯
療育センター	運動発達遅滞、リハビリ(自閉スペクトラム症)、言語障害、言語発達遅滞、 ADHD、構音障害 ASD 発達性協調運動障害 難聴支援(ありんこ教 室、山彦園)
脳神経外科	頭痛、統合失調症、小児神経症
精神科	ASD、ADHD、被虐待児症候群、睡眠障害、鬱症状
婦人科	月経困難症
感覚器科	鼻咽腔閉鎖不全症 ピエールロバンシークエンス

(8) 義務教育等終了児童の進路状況

広島修道院

性別	年齢	終了機関	進路	名称	学科	備考
男	15	広島市立二葉中学校	進学	私立広島桜が丘高等学校	普通科	在籍

広島修道院きずなの家（本園・分園）

性別	年齢	終了機関	進路	名称	学科	備考
男	18	県立広島工業高等学校	進学	広島医療秘書こども専門学校	保育科	自立
女	18	県立安芸府中高等学校	進学	広島ビューティー&ブライダル専門学校	ブライダルプロデュース科	自立
女	18	私立広島翔洋高等学校	就職	株式会社かめいあんじゅ		自立
男	15	広島市立二葉中学校	進学	私立広島桜が丘高等学校	普通科	在籍
男	15	広島市立二葉中学校	進学	私立広島翔洋高等学校	普通科	在籍

(9) 令和元年度～令和7年度までの保育園各年齢別初日在籍一覧表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	令和元年度	6	8	9	9	9	9	9	9	9	9	12	12	110
	令和2年度	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	9	77
	令和3年度	3	6	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	95
	令和4年度	3	6	6	6	8	9	9	9	10	10	11	11	98
	令和5年度	4	5	5	7	8	7	10	9	10	10	10	10	95
	令和6年度	8	8	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	114
	令和7年度	5	6	6	6	6	8	8	10	10	10	10	10	95
1歳	令和元年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	182
	令和2年度	15	14	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	172
	令和3年度	14	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	16	182
	令和4年度	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	15	179
	令和5年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	令和6年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	178
	令和7年度	14	13	13	14	15	15	15	15	15	15	15	15	174
2歳	令和元年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和2年度	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	215
	令和3年度	15	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	208
	令和4年度	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	213
	令和5年度	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	205
	令和6年度	17	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	198
	令和7年度	16	16	16	17	17	18	18	18	18	18	18	18	208
3歳	令和元年度	14	15	15	15	17	17	17	17	17	17	17	17	195
	令和2年度	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	210
	令和3年度	17	18	18	18	18	17	17	17	17	16	16	16	205
	令和4年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和5年度	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	211
	令和6年度	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	205
	令和7年度	18	17	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	206
4歳	令和元年度	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
	令和2年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和3年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和4年度	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
	令和5年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和6年度	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	206
	令和7年度	17	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	207
5歳	令和元年度	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	188
	令和2年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	令和3年度	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
	令和4年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和5年度	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
	令和6年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和7年度	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	215
合計	令和元年度	87	90	91	91	94	94	94	94	94	94	98	98	1,119
	令和2年度	93	94	94	94	94	94	93	93	93	94	97	97	1,130
	令和3年度	84	91	92	92	94	93	94	94	94	94	94	94	1,110
	令和4年度	87	91	92	92	94	94	94	93	94	94	93	93	1,111
	令和5年度	88	90	90	90	92	94	94	94	95	95	96	96	1,114
	令和6年度	94	92	91	93	93	93	93	94	94	94	93	93	1,117
	令和7年度	87	88	89	90	90	93	93	95	95	95	95	95	1,105

令和 7 年度事業報告

(10) 実施行事・日課の状況

① 実施行事 広島乳児院

月	行 事	内 容
4	花見遠足	各部屋でグランドの桜を見に行き、お庭でおむすびやナゲット、花ソーセージ等お花見ランチを頂く。(4月4日)
5	子どもの日の集い	こどもの日の由来を聞き、各部屋でおやつにこいのぼりゼリーやたい焼きを頂きながらお祝いをする。(5月5日)
6	とうかさん	お祭りの雰囲気を楽しみながら、好きなおもちゃやおやつを購入する。(6月7日)
7	七夕	それぞれの部屋で七夕にまつわるお話を聞き、思いを込めて短冊作りを楽しむ。昼食時に星型トッピングの冷や麦やおやつに七夕クッキー、七夕ゼリーを頂く。(7月7日)
7	夏の院外活動	気温が高い為、道の駅のん太の酒蔵(7月14日)、ゆめタウンみゆき(7月30日)の室内遊具を楽しむ。
8	わんぱくまつり(夏祭り)	各部屋で手作りのゲーム・お店屋さんごっこを楽しみ、各部屋でサンドイッチやナゲット等をバイキング形式で頂く。(8月28日)
10	七五三	5歳男児1名スーツ姿で、広島東照宮へ参拝し昼食とおやつを食べて帰院する。(10月20日)七五三のお祝いに紅白蒸しパンをおやつにみんなで食べる。
10	ハロウィン	担当者が創意工夫をして準備をした衣装に仮装して施設内をおかしをもらいながら歩き、3時のおやつにみんなで頂く。(10月29日)
11	秋の遠足	安佐動物園、水族館へそれぞれのお部屋で出かけ、各々好きなメニューを注文して頂く。(11月11日)
12	クリスマス会(乳幼児)	各部屋でクリスマスの話を聞き 昼食でチキンライス、エビフライ、ポテトを頂き、おやつにケーキ、クッキー、ゼリーでクリスマス会を楽しむ。サンタクロースからプレゼントをもらい大喜び。わくわく、ドキドキの1日を過ごす。(12月25日)
12	大晦日	夕食に巻きずし、年越しうどんなどで1年を締めくくる。(12月31日)
1	お正月	「あけましておめでとう」の声掛けで目覚める。朝食時にお雑煮、おせち料理を頂き、お正月気分を味わう。(1月1日)
1	初詣	各々お年玉を持って神社に初詣に出かけ、ゆめタウンで絵本やおやつを購入して帰る。(1月5日)
1	創立記念日	幼児クラス参加。児童ホーム児の出し物も見te楽しむ(1月6日) 昼食にすいとんを頂く。
2	節分	各部屋で節分にまつわるお話を聞き、子どもが鬼のお面をつけたり職員が手作りのゲームで豆まきを楽しむ。夕食に手巻き寿司を頂く。(2月3日)
3	ひなまつり	それぞれの部屋で和服姿になりお雛さまの前で写真撮影 各部屋で、おやつにひなまつりタルト、夕食でちらしずしとはまぐりのお吸い物を頂き、女兒の成長を祝う。(3月3日)
	お別れ遠足	各部屋でアクアス(3月9日) 安佐動物園(3月11日)に行き、各々の動物や魚を見て楽しみ、昼食はレストランで好きな物を注文して頂く。
	お別れ会	各部屋でお別れのパーティをし、それぞれの成長、旅立ちを祝う。(3月27日)
備考	誕生日会	子どもの誕生月毎に、それぞれの部屋で祝う。 担当者と一緒に好きなものを買った。部屋では、誕生日ケーキを頂き、皆でお祝いをした。

乳幼児ホームの日課																	
0 ヶ月 ～ 6 ヵ月	AM									PM							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		起床・更衣	自由遊び	検温	離乳食	自由遊び		自由遊び	離乳食	検温	沐浴	授乳	自由遊び	更衣・就寝			
	(授乳、おしめ換えは随時行なう)																
7 ヶ月 ～ 12 ヶ月	AM									PM							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		起床・更衣	朝食	検温	自由遊び	午睡				検温	午睡	自由遊び	夕食	入浴	更衣・就寝		
	(授乳、おしめ換えは必要に応じて行なう)																
13 ヶ月 ～ 4 歳児	AM									PM							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		起床洗面・更衣	朝食		横割保育	自由遊び	昼食		午睡		おやつ	自由遊び	夕食	入浴		更衣・就寝	
	(基本的生活習慣の発達を援助する)																

② 実施行事 広島修道院

月	行 事	内 容
4	入園式 入学式 就任者研修（小、中学校） 安全委員会記念集会 丸山町内グラウンドゴルフ大会	矢賀幼稚園に2名入園 小学校へ4名、中学校へ2名、高等学校4名、各入学 就任者研修・家庭訪問 ホールにて全児童参加 職員に混じって、児童も飛び入り参加
5	なかよし運動会 小中学校家庭訪問 サッカー招待 GW 院外活動・外食 OB 会 あいあい福祉通り K1 慰問	全児童参加 それぞれ受け入れ サンフレッチェ広島 ホームごとに行楽地や映画へ バーベキュー大会を実施 和太鼓演奏 K1 ジムによる体操教室
6	稲荷祭 中学校体育祭 各高校体育祭 サッカー招待 和菓子の日 いっぽ 吉和デイキャンプ 中川農園	浴衣や甚平を着て楽しむ。 学年別の競技実施の形で実施 各高校の判断により、実施 サンフレッチェ広島 和太鼓演奏 SST 加茂氏の別荘にて、小学生男子で実施 とうもろこしの収穫体験
7	七夕の会 夏季学習（小学生） 子ども会映画会 矢賀幼稚園夏祭り 水分峡・中央公園ファミリープー ル サッカー招待 プロ野球招待 町内大掃除 子ども会球技大会 いっぽ 施設内キャンプ こども未来クエスト 駅北尾長フェスタ	各ホームにてそうめん会食 小学校の先生が来院し、実施 あいあいプラザにて実施 矢賀幼稚園生参加 適時実施 小学生を中心に遊泳 サンフレッチェ広島 広島カープ 町内のゴミ拾い、草引き T ボール大会 SST 学習室でキャンプ遊び マツダ財団と広島市児童福祉施設連盟共催の野外活動。小6、三名が参加 幼児ホームで参加。出店を楽しむ。
8	町内盆踊り おひさまクラブ ふれあいキャンプ 広島東急映画招待 広養協親善なかよし球技大会 墓参り 夏休み院外活動 公文マラソン サマーパーティー 小学生 キャリア授業 東急映画会 グランピング招待 いっぽ 総合キャンプ 吉和キャンプ 平和の歌を聞く会 平和の本読み聞かせ	児童、職員で参加。設営～準備も手伝う。 里子と男児数名、アクアスへ。 大雨で中止。院外活動に切り替え。 109 シネマズ招待 児童 40 名、職員 8 名参加 小学生ソフトボール大会実施 児童 15 名、職員 5 名参加 児童、職員で実相寺、光福寺に参拝 ホームごとに実施 小学生対象 各学校、幼稚園を招いて実施。地域にも声掛け 企業を見学 109 シネマ（アルパーク）貸し切り 小瀬川峡の施設に宿泊 SST 県内施設の中学生が参加 加茂先生の別荘を借りて、小学生 5 名が参加 8・6、国際会議場のイベントに行く。 原爆の絵本の読み聞かせを実施
9	尾長小学校体育参観日 CAP プロ野球招待 サッカー招待 小学校ソフトボール大会 中学校軟式野球大会	小学生児童参加 限定的に分散実施 体育参観日として 幼児、小学生が「権利」や「暴力からの逃げ方」を学ぶ。 広島カープ サンフレッチェ広島 施設対抗ソフトボール大会 施設対抗野球大会。他施設との連合で参加

	いっぱ 中川農園 昆虫教室 中国地区平和セミナー 音楽会 お金の勉強会	s s t ブドウ狩り体験 かまきり博士によるワークショップに参加 中国地区の施設の中高生が集まり平和を学ぶ企画。中学生1名参加 エリザベート音大の学生による演奏を聴く。 ジブラルタル生命のボランティアによるワークショップ。小5、6が参加
10	幼稚園運動会 尾長天満宮秋季大祭 中・各高文化祭 子ども会スポレク大会 お月見お茶会 電力総連「響」 ふれあいバスハイク ハロウィン 中川農園 軟式野球大会	矢賀、的場。職員、保護者、関係者が応援する。 綱引き相撲個人戦に参加。和太鼓チーム鎮守の杜コンサート出演 合唱、展示など 体育館にてレクリエーション お団子を作って楽しむ。 小学位と労組青年部でバス遠足 こころの里親出合いの集い。動物園を散策。児童30名参加 ホールにて仮装大会 さつまいも掘りを体験 中高生男児、東広島での大会に参加
11	尾長ふれあいデー(日曜参観) あいあいプラザ祭 亥の子祭り 七五三 バルサン消毒 チャイルドライン和太鼓演奏 サッカー招待 会食行事 歩行訓練	小学生、保護者が参加 和太鼓演奏で出演 町内を練り歩き、餅つき 尾長天満宮に年中男児2名小学1年女児1名が参拝 同会の25周年イベントに招聘 サンフレッチェ広島 司厨士会による慰問。ケーキ作り、ゲーム企画有り ショート、ロングに距離を設定して実施
12	クリスマス会(町内子ども会) 院内餅つき 町内大掃除 院内大掃除 広島ドリミネーション鑑賞 サッカー招待 清掃奉仕 MDRT 町内夜回り	手作りゲームや出し物 児童・職員・OB・元職員らと交流 町内のゴミ拾い等 各ホーム担当を決め、大掃除をする。 各ホーム平和大通りのイルミネーション鑑賞 サンフレッチェ広島 プルデンシャル生命と児童で洗車等 金融、生命保険有志団体と洗車やグラウンド整備 小中有志で「火の用心」
1	初詣 院外活動 OB行事 創立記念式典 とんど祭り 矢賀フェスタ 性教育企画 商船学校招待	近隣の神社にお参りする。 学年ごとに分かれて実施 ボーリング大会 久しぶりに児童も参加 尾長小にて。地域行事だが全面協力 矢賀幼稚園関係児童が参加 マザーリングクラブによる性教育ワークショップ 練習船に体験乗船。小学生男児13名が参加
2	節分企画 恐羅漢スノーパーク招待 サッカー招待 CAP ラグビー招待	節分行事を楽しむ。鬼が各ホームを回る。 スキー・スノーボード招待。児童12名、職員3名参加 サンフレッチェ広島 小学生に対する暴力防止のワークショップ 男子2ホームが参加
3	ひな祭り・百人一首大会 卒業(園)式 民生委員交流会 卒業を祝う会 院外活動 公文シェークリムの会 いちご狩り行事 サッカー招待 子ども会お別れ会 職場体験企画	「わかくさ基金」様を招いてお茶会も実施 的場幼稚園2名、矢賀幼稚園3名、小学生3名、中学生1名それぞれ卒業 地元民児協と幼児、小学生が交流。お菓子作り、ゲーム等 卒園・卒業生を祝う会を実施。夕食お祝いメニューで祝う。 ホーム単位でお別れ会を兼ね外食へ行く。 児童の公文式学習の学習進捗を評価し祝う。 広島ライオンズクラブより招待。BBQも有り。 サンフレッチェ広島 映画鑑賞 資生堂を見学。高校生2名、中学生1名が参加

その他定期行事

毎月 (適時)	防火訓練（総合訓練、消火訓練、夜間訓練等） 身体測定 誕生日会（誕生日に各ホームで実施） 各ホームお祝い会実施 公文学習会（小、算数を指導）週3日実施 コグニティブトレーニング（個別学習） 安全委員会 応援委員会 性教育 年代別に実施 個別心理面接(心理士) 小学生キャリア学習 個別聞き取り（西部、市） インフルエンザ予防接種 日本脳炎予防接種 新型コロナウイルスワクチン(適宜) アドボケイト	理髪奉仕ボランティア 和太鼓練習 田中学習会（塾） 啓誠塾・5days(塾) スマイルクラブ ソフトボール 水泳教室	職員会議 ケース会議 児童ホーム主任会議 各係・ホームの連絡会 広養協各会議等 給食会議 小学校との連絡会 尾長小協力者会議 中学校との連絡会 各校授業参観 町内組長会議 尾長社協定例会 子ども会各部会 あいさつ運動（小、中）
毎週	嘱託医来診（毎週木曜日）		

児童ホームの日課																	
	AM									PM							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平日		起床・洗面	朝食	登校			降園・幼児		降園・幼児	間食	下校・低学年・学習	下校・高学年・学習	夕食・準備	夕食・自由時間・学習	歯磨・小学生・幼児	就寝・中学生	就寝・高校生
	入浴：幼児小学生 16:00～17:30 中高生 18:00～22:00 まで																
	AM									PM							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
休日		起床・洗面	朝食	学習			昼食・自由時間		間食・自由時間				夕食・自由時間・学習		就寝・小学生・幼児	就寝・中学生	就寝・高校生
	起床時間〔平日 AM 7:00 休日 AM 8:00〕 就寝時間〔幼児・小学生 PM 8:00 中学生 PM 10:00 高校生 PM 11:00〕																

児童ホームの年中及び年長児（5～6 歳児）は的場幼稚園、矢賀幼稚園に通園し保育を受ける。

年少児（2～4 歳児）の保育は乳幼児ホームの生活指導の中に組み入れて院内で行う。幼稚園に2年間通園し地域への参加をより多く持つことで、社会性を養っていく。更に、保護者や里親との関わりを多く持つことにより情緒の安定を図る。児童ホームは10グループの単位集団を形成し、基本には幼児、小中学生、高校生を分け横割り年齢構成として各ホームで担当職員と専任職員が生活支援にあたる（うち3ホームは中高生女子、小学生女子、縦割り男子の小規模グループケアホーム）。

令和 7 年度事業報告

③ 実施行事 広島修道院 きずなの家本園

月	行 事	内 容
4	4 日 尾長小就任者研修 4 日 二葉中就任者研修 8 日 安全委員会集会 7 日 高校入学式 9 日 中学校入学式 21 日～24 日小学校家庭訪問 19 日 丸山自治会合同防災訓練 25 日 春の会・まとめの会	・小学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 ・中学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 ・今年度委員の紹介と安全・安心な生活を目指すことの確認の集い。男女児 17 名参加 ・広陵高校女児 1 名 ・二葉中学校 男児 1 名、女児 1 名 ・小学校の各担任が来院され担当職員と懇談する。 ・丸山地域の方との合同避難訓練。分園 202 洗面所のドライヤーが出火元 ・春の会新任職員、移動職員、移行児童等顔合わせ会として自己紹介と BBQ で交流を深める。まとめの会 (2024 年度) 児童表彰
5	3 日 サンフレッチェ招待 5 日 院外活動 5 日 院外活動 6 日 院外活動 11 日 第 71 回児童福祉施設親善なかよし運動会 24 日 カーブ野球招待 24 日 K1 スポーツ教室 25 日 カーブ野球招待	・みのり 3 名参加 ・のぞみ、映画、外食女児 5 名参加 ・みのり vs パーク・アスレチック、外食。男児 5 名参加 ・あゆみ尾道、映画外食を楽しむ 女児 6 名参加 ・阿品台東小学校にて各施設が集い運動会 ・ワイテックさん招待 雨天の為中止 ・幼児 2 名、小学生 4 名参加 ・泉会さん招待 のぞみ女児 1 名参加
6	7 日 稲荷祭 23 日 S S T [いっば] ①② 28 日尾長学区子ども会 T ボール大会	・部屋単位で稲荷祭に参加 デリバリー、外食をする。 男児 6 名・女児 11 名参加 ・ガーデンパレス 開校式・第 1 回ビジネスマナー・第 2 回テーブルマナー講習 高校生男児 1 名 女児 2 名 ・T ボール参加 男児 1 名、女児 4 名参加
7	7 日 きずなの家七夕会 21 日 町内清掃 19 日尾長学区子ども会映画鑑賞会 24 日 夏季学習 (小学生) 27 日 S S T [いっば] ③④ 28 日～30 日マツダ財団科学キャンプ 29 日～30 日 広養協総合キャンプ	・短冊に願い事を書き、笹に飾る。みんなで庭でソーメン、おにぎり、アイスを食べる。 ・町内清掃 (草取り等) 小学生参加男児 2 名女児 6 名参加 ・あいあいプラザに「あの夏のルカ」を鑑賞男児 2 名女児 6 名参加 ・尾長小学校教師が来院し学年別に学習指導を実施後遊び。小学生男児 1 名女児 4 名参加 ・東区地域福祉センターにて第 3 回「伝え方と受け止め方」第 4 回「就職活動セミナー」 高校生女児 1 名参加 ・男児 1 名参加 ・男児 3 名参加
8	2 日 町内盆踊り大会 3 日 そうめん流しの会 4 日 公文マラソン 12 日 墓参り 17 日 墓参り 19 日 早朝避難訓練 25 日 サマーパーティー 24 日 SST 「いっば」 ⑤ ・院外 (活動) 23 日 キャリア学習	・尾長公園で地域の盆踊り大会に参加 男児 5 名、女児 9 名参加 ・きずなの家裏庭にて児童 16 名、職員 7 名参加 ・本園と合同で公文学習を実施。男児 2 名・女児 5 名参加 ・児童、職員で実相時、光福寺に参拝。のぞみ女児 4 名、職員 3 名 ・児童、職員で実相時、光福寺に参拝。みのり男児 4 名、職員 2 名 ・法人で 5 時半からや夜間想定火災避難訓練実施 男児 5 名 女児 10 名参加 ・児童ホームと共同開催。小中学校の教諭、児相職員を招待し BBQ 等をし、夏休みにがんばった児童を表彰する。 ・東区地域福祉センターにて第 5 回「若者への法律教室」第 6 回「雇用主の話」 高校生男児 1 名、女児 1 名参加 ①のぞみの部屋 8/7 アクアス女児 5 名 8/12 ファミリープール女児 4 名 ②あゆみの部屋 8/12 映画鑑賞女児 2 名、ゆめタウン広島女児 2 名、VS パーク女児 1 名 外食女児 6 名、 ③みのりの部屋・ 8/14 下松健康パーク男児 5 名 8/20 ファミリープール男子 2 名 8/30 東区スポーツセンタープール男児 4 名 小 5 男児 1 名参加
月	行 事	内 容
9	6 日 キャリア学習会社見学中学生 22 日 夏の会	・2 回目 3 名参加 ・きずな裏にて夏休みの頑張りを表彰。全児童参加

令和 7 年度事業報告

	28 日 SST「いっぽ」⑦ 15 日 泉会カーブ野球招待 20 日～21 日中国地区児童養護施設平和セミナー	・第 7 回「身だしなみセミナー」 東区地域福祉センター女子高校生 2 名参加 ・マツダスタジアム VS ヤクルト 女児 5 名参加 ・ユーハイム似島歓迎交流センター
⑩	2 日 県立広島工業体育祭 4 日 ワイテック野球招待 5 日 尾長学区子ども会スポレク大会 11 日 的場幼稚園運動会 12 日 支援チャリティーコンサート（和楽器演奏） 16 日 二葉中文化祭合唱祭 18 日 尾長天満宮 こども神輿・綱引き 18 日 荒神町小運動会 19 日 鎮守の森コンサート 15 尾長小 5 野外活動（10/15、16） 25 日キャリア学習小学生企業見学 26 日 SST「いっぽ」⑧、⑨	・1 名参加 ・ヤクルト戦 児童 6 名、職員 2 名参加 ・小学生 6 名参加 ・的場幼児女児 2 名参加 ・修道院講堂にて 女児 4 名参加 ・アステールプラザ 男児 3 名、女児 2 名参加 ・子ども神輿・綱引き相撲大会 女児 6 名参加 ・小 2 男児 1 名参加 ・尾長天満宮で和太鼓演奏 女児 3 名参加 ・安佐北区野外活動センター 男児 1 名 ・小 5 男児 1 名参加 ・第 8 回「悪徳商法被害防止セミナー」 ・第 9 回「金融教育」高校生女子児童 2 名、高校生男子児童 1 名参加
11	3 日 あいあいプラザ祭り 8 日 こころの里親出合いの集い 11/8 8 日 ワイテックドラゴンフライズ観戦招待 23 日 丸山自治会亥の子祭り 16 日 SST「いっぽ」⑩、⑪ 23 日 ひろしまチャイルドライン 設立 25 周年記念イベント 29 日 広養協なかよし球技大会 30 日 広島司厨士会慰問クリスマスランチ	・舞台発表で和太鼓演奏。女子児童 4 名参加 ・ふれあい里親さんとバスハイク（安佐動物園）小学生 5 名参加 ・児童 6 名参加 ・亥の子祭りで亥の子槌について尾長地区を回る。 小学生男児 1 名、女児 3 名 年長児 2 名参加 ・第 10 回「金融教育」11 回「テーブルマナー」 ・閉校式 高校生女児 2 名、高校生男児 1 名参加 ・国際会議場ヒマワリ 小学生女児 3 名参加 太鼓を叩く ・女子卓球大会長者ヶ原スポーツセンター 中学生女児 1 名、小学生 1 名参加 ・修道院講堂
12	16 日 院外活動（あゆみ） 20 日 院外活動（のぞみ） 20 日 的場幼稚園 クリスマス同窓会 20 日～21 日 JSN サッカークラブ冬キャンプ 21 日 尾長学区クリスマス祭り 24 日 クリスマスパティー 25 日 天下一品ラーメン慰問 29 日 院外活動（みのり） 29 日 餅つき 29 日 大掃除	・広島ドリミネーションを觀て街を散策後外食。女児 5 名参加 ・広島ドリミネーションを觀て街を散策後外食。女児 5 名参加 ・小学生女児 2 名参加 ・小学校でゲームやキャンドルサービスを楽しむ。男児 1 名、女児 4 名参加 ・小 5 男児 1 名参加 ・小学生男児 1 名、女児 4 名参加 ・部屋ごとの開催、きずな裏庭にてビンゴでプレゼント交換をして楽しむ。 ・グラウンドにて全児童参加 ・広島ドリミネーションを觀て街を散策後外食。男児 6 名参加 ・児童、職員で正月用の餅をついてその場で食べたりして楽しむ。 ・部屋ごと到大掃除をする。
1	1 日初詣 3 日初詣 6 日創立記念式典 11 日尾長地区とんど祭り 17 日～18 日 みのり卒業旅行	・尾長天満宮 のぞみ女児 4 名 ・護国神社みのり男児 5 名 ・式典後、当時を偲んで麦飯とすいとんを食べる。男児 2 名・女児 6 名参加 ・尾長小学校にてとんど祭りを開催 幼児女児 2 名、小学生男女児 8 名参加 ・香川県に一泊旅行男児 6 名
2	3 日節分豆まき 14 日～15 日のぞみ卒業旅行 21 日みのり外食会	・きずな裏で幼児、小中学生対象に職員が鬼に扮して豆まきを実施 ・香川県に一泊旅行女児 5 名、高 3 生一名大分一泊 ・男児 6 名参加

令和 7 年度事業報告

3	7 日～8 日あゆみ卒業旅行 18 日幼稚園卒園 ・高校生 3 名卒業 4 日のぞみ夕食会 10 日あゆみ夕食会 14 日尾長地区民生委員さんとの交流会 20 日卒業・卒園を祝う会 22 日尾長学区子ども会餅つき 27 日令和 7 年度公文シュークリームの会 30 日みのり食事会	・宮島一泊旅行女児 4 名、高 3 生 1 名大阪一泊 ・18 日の場幼稚園 2 名卒園 ・1 日翔洋高校、3 日県立広島工業、6 日安芸府中高校 ・女児 6 名参加 ・女児 5 名参加 ・あいあいプラザで交流会 昼食調理 男児 1 名、女児 4 名参加 ・卒園、卒業、卒院を祝う。全児童参加 ・幼児 2 名、男児 2 名、女児 4 名参加 ・日頃の公文学習の成果を発表し頑張りを表彰する。分園と合同 男児 2 名 女児 6 名参加 ・みのり児童 4 名参加
---	---	--

その他定期行事

毎月 (適時)	防火訓練（総合訓練、消火訓練、土砂災害訓練、夜間訓練等） 身体測定 誕生日会（誕生日に各部屋で実施） 公文学習会 週 3 日以上実施 安全委員会 個別聞き取り（西部、市）	和太鼓練習 サッカー教室 啓誠塾 そろばん教室 スマイルクラブ	職員会議 ケース会議 部屋会議 主任・専門員会議 広養協各会議等 給食会議 小学校との連絡会 中学校との連絡会 各校授業参観 P T C 子ども会各部会 あいさつ運動（小、中）
毎週	嘱託医来診（毎週木曜日） 学習指導（毎週月）		

きずなの家は家庭的養育を標榜しているため、時間で区切った明確な日課の設定はしておりません。

部屋ごとに、子どもの年齢構成、状況に応じて、健康に留意し、社会通念から逸脱しない基本的な生活リズムを守ることが念頭に生活を送っております。

令和7年度事業報告

④ 実施行事 広島修道院 きずなの家分園

月	行 事	内 容
4	2日 302 世帯活動 4日 尾長小就任者研修 4日 二葉中就任者研修 8日 安全委員会集会 9日 中) 入学式 7日 高) 入学式 19日 丸山自治会合同防災訓練	→VS パーク (児4名)、ちきゅうのにわ (児2名) 夕食外食 焼肉 (児6名) →小学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 →中学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 →今年度委員の紹介と安全・安心な生活を目指すことの確認の集い。男・女児23名参加 →二葉中学校男児2名・女児1名 入学 →山陽高校入学式 高校女児1名 入学 →丸山地域の方との合同避難訓練。乳児院が出火元 男児10名・女児11名参加
5	3～6日 GW 活動&外食 11日 第71回児童福祉施設親善 なかよし運動会 15日 中1野外活動 25日 泉会カープ招待 25日 きつつき福祉通り	→5/3 201 フラワーフェスティバル、外食8男児5名参加 301 VSPARK 男児1名 女児5名参加 →5/4 202 安芸高田市でBBQ (男児6名参加) 302 フラワーフェスティバルと外食、カラオケ、外食 (女児5名参加) 名、アルバイトの高校生は夕食のみ参加) →5/6 201 安佐動物園 男児3名 VS パーク男児3名 301 vS パーク・女児6名参加 →阿品台東小学校にて各施設が集い運動会 男児9名 女児10名参加 →江田島青少年青少年交流の家 男児2名 女児1名参加 →カープVS横浜DeNA 男児4名 女児1名参加 →あいあいプラザにてオープニング和太鼓演奏 男児2名、女児4名参加
6	5日 中) 体育祭 7日 稲荷祭 8日 泉会カープ招待 15日 和菓子の日寄贈式 22日 SST [いっぽ] ①② 28日 丸山学区子ども会Tボール 大会	→中学校で体育祭 男児6名、女児3名参加 →幼児5名・小学生7名は甚平、中高生男児6名私服、中学生女子～高校生4名は浴衣 で広島のお祭りを楽しむ。 →カープ野球招待 女児6名参加 →広島県生菓子工業会様からの寄贈のお礼を込めて和太鼓演奏 (分園4名) →ガーデンパレス 開校式・第1回ビジネスマナー・第2回テーブルマナー講習 →尾長小にて丸山学区の地域対抗Tボールをして交流する。男児2名、女児3名参加
7	13日 町内清掃 7/13 17日 カープ野球招待 19日 尾長学区子ども会映画鑑賞会 20日～21日 201 宿泊旅行 ・ラジオ体操開始(7/23～8/5) ・夏季学習 (小学生) (7/23) 26日 広島みなと夢花火大会鑑賞 27日 SST [いっぽ] ③④ 28日～30日 マツダ財団科学キャン プ 29日～30日 広養協総合キャンプ	・町内清掃 (草取り等) 男児5名・女児10名参加 →VS DeNA ベイスターズ 男児3名 女児1名参加 ・あいあいプラザにて「あの夏のルカ」を鑑賞 小学生男児2名、女児4名参加 →201 宿泊旅行 (院外活動) 香川県レオマワールド 男児6名参加 ・修道院、きずな合同の事務所前でラジオ体操をする。 年長1名小学生男児3名女児3名参加 ・尾長小学校教師が来院し学年別に学習指導を実施後遊び。小学生男児3名女児3名参 加 ・分園屋上にて字品の広島みなと夢花火大会を鑑賞 男児女児24名参加 ・東区地域福祉センター大会議室にて第3回「就職活動セミナー」第4回「身だしなみ セミナー」 →ほしはら山の学校 (三次市) 2泊3日 科学を学びながらのキャンプ 男児1名 女児3名参加 →広島県民の森キャンプ場 広島県下施設の中1.2年が集うキャンプ 男児 1名 女児 2名参加
8	2日 丸山地区盆踊り大会 4日 公文マラソン 5日 分園 BBQ 13日 夜間想定避難訓練 14～16 墓参り (実相寺光福寺) 23日 キャリア学習 21日 広養協親善ソフトボール大会 24日 SST 「いっぽ」 ⑤⑥	・尾長第2公園で地域の盆踊りに幼児から高校生まで参加 ・児童H、きずな本園と合同で講堂にて実施。 小男2名幼男2名・小女4名幼女2名参加 ・ピースウイング傍の川沿いでBBQをして楽しむ。男女児23名参加 ・分園のみで20時から火災避難訓練 男児 12名 女児 11名参加 ・14日 301 (6名) 302 (5名) 16日 202 (5名) 世帯ごとに墓参り ・小学生2回目 中学生対象 男児2名 ・新生学園グラウンドにて施設対抗小学生ソフトボール大会 児童ホーム合同で男児1名 参加 ・東区地域福祉センター大会議室にて第5回「若者への法律教室」第6回「雇用主様の 話」 女児1名参加 ・児童H、きずな本園と合同でにてグラウンドにて実施。小男児4名・小女児5名参加

令和7年度事業報告

	25日サマーパーティー ・世帯（夏休み院外活動） 30日3階合同花火大会	・児童H、本園と共同開催、グラウンドにてゲーム他、個々の頑張りを労い表彰。幼・小・中の教員も多数参加 201部屋 6日 シシンヨーアクアパーク（児童6、職員2） 202部屋 18日 プレイパーク蛇喰・外食（児童6、職員3） 301部屋 18・19日 一泊2日プレイパーク蛇喰・外食・外食（児童6、職員4） 302部屋 18日 イオンモール外食（児童6、職員4） 301.302：ファミリープール（児童12名参加・職員5名） → 修道院グラウンドで夏休み最後の思い出作りとして花火をして遊ぶ（児童12名参加）。
月	行 事	内 容
9	6日・キャリア学習 20日・中国地区児童養護施設児童平和セミナー 28日・SST「いっぽ」	中3対象の社会見学（株NOGAMI 中3男児2名参加 →一泊2日で平和記念資料館見学、ユウハイム似島歓迎交流センターにて平和学習交流行事（中学生女子2名参加） ・広島ガーデンパレスにて第7回「悪徳商法被害セミナー」第8回「身だしなみセミナー」 高校生男児1名・高校生女児1名参加
10	4日ワイテックカーブ招待 5日尾長学区子ども会スポレク大会 矢賀・的場幼稚園運動会 6日お月見会 11日広養協児童軟式野球大会 13日201院外活動 18日尾長天満宮こども神輿 19日鎮守の杜コンサート 16・17日・小5野外活動 26日・SST「いっぽ」	・VSヤクルト戦 男児3名・女児5参加 ・尾長小学校にてスポーツレクレーション。男児3名、女児3名参加 ・10/5 矢賀年長児3名参加 ・10/11 的場女児2名参加 ・お団子を作って中秋の名月の月を観ながらお団子を食べて楽しむ。 ・新生学園にて施設対抗中高生軟式野球大会 中男2名高男1名参加 ・201ピクニックトムミルクファームへ行き自然と楽しむ。 ・神輿後、尾長天満宮にて綱引き相撲 男児5名参加 女児5名参加 ・尾長天満宮にて和太鼓演奏 小男児2名 女児7名 ・広島市青少年野外活動センター（広島市こども村） 女児3名参加 ・第8回「悪徳商法被害防止セミナー」・第9回「携帯電話の安全教室」 中学生男児1名参加
11	3日 あいプラまつり 10日 七五三参拝 8日・里子里親出合いの集い 8日・ワイテックバスケットボール招待 15日小学校運動会 16日・SST「いっぽ」 22日302USJ旅行 23日尾長地区亥の子祭り 29日広養協なかよし球技大会 30日広島司厨会クリスマス慰問	・あいあいプラザにて和太鼓出演 中女児2名、小男児2名 小女児3名 参加 ・鶴羽神社にて年中男児1名参拝 ・ふれあい里親さんとバスハイク（安佐動物園）小学生4名参加 ・ドラゴンフライズVS 中男2名中女児2名参加 ・尾長小学校運動会 男児2 女児3 名参加 ・第10回「金融教育」第11回「テーブルマナー」・閉校式 中高男児2名参加 ・302 USJ 院外旅行女児4名参加 ・亥の子祭りで6年生は鬼役、5年生以下は亥の子槌について尾長地区を回った。小学生男児2名、女児3名 年長児3名参加 ・尾道長者原スポーツセンターで施設対抗女子卓球大会 女児小中高生 6名参加 ・講堂リスマスケーキ作成や司厨会さんの料理を頂く。全児24名参加
12	7日202院外活動 21日尾長学区クリスマスまつり 24日クリスマスパーティー 27日302USJ旅行 29日院内餅つき 大掃除（27～30） ・丸山自治会防災パトロール（27～29）	・カラオケ・ボーリングをして楽しむ 男児6名参加 ・小学校でリース作成や高校のブラスバンドの演奏を楽しむ。 小学生男児2名、女児3名参加 ・各部屋でZOOMビンゴをして楽しむ 全児24名参加 ・302旅行 11/22怪我で旅行に参加できなかった女児1名を連れてUSJ旅行 ・部屋ごとの開催、各部屋でZOOMビンゴをしてプレゼントをもらう。 ・児童、職員で正月用の餅についてその場で食べたりして楽しむ。 ・部屋ごとに大掃除をする。 ・丸山自治会の方と「火の用心」と言いながら町内を歩く 小女児3名参加
1	・世帯活動（1/1.～5） 6日 創立記念式典 11日 尾長地区とんど祭り	1日初詣（各部屋単位）201.202夕食テイクアウト 4日備北丘陵公園イルミネーションを見て外食 202男児1名301女児1名参加 ・式典後、昼食は当時を偲んで麦飯とすいとんを食べる。中学生は始業のため不参加 ・尾長小学校にてとんど祭りを開催 幼児男女児4名、小学生男女児6名参加

令和 7 年度事業報告

	18 日 201 院外活動 20 日.22 日 中 2 修学旅行	・ 201 唐戸市場、はいからっつと横丁 男児 6 名参加 ・ 中 2 関西方面（USJ 他）に修学旅行 男児 2 名・女児 2 名参加
2	1 日 節分豆まき	・ 鬼に扮した職員が各部屋回り豆まきを実施
3	・ 幼稚園・小学校卒業式 7 日女子サッカー観戦 14 日民生委員さんとの交流会 20 日卒園・卒業祝う会 21 日女子サッカー観戦 21 日丸山子ども会餅つき大会 27 日公文シュークリーム会の会 28 日院外活動 201 29 日院外活動 202 30 日院外活動 301	・ 6 日 中学男児 2 名 18 日の幼 1 名 19 日矢賀幼 2 名 ・ 201 サンフレッチェレジーナ戦（女子サッカー）を観戦 男児 3 名参加 ・ あいあいプラザで交流会 調理・お菓子作り 小学男児 2 名・女児 4 名参加 ・ それぞれの卒業、巣立ちを祝う。全児童 24 名参加 ・ あいあいプラザで餅つきして祝う。幼小男児 5 名 幼小女児 6 名参加 ・ 301 サンフレッチェレジーナ戦（女子サッカー）を観戦 女児 5 名参加 ・ 日頃の公文学習の成果を発表し頑張りを表彰する。幼小男児 5 名 幼少女児 7 名参加 ・ 201 映画鑑賞 6 名参加 ・ 202 日帰り旅行（山口唐戸市場、福岡相島）に男児 6 名参加 ・ 301 映画・外食（イオンモール府中） 女児 6 名参加

その他定期行事

毎月 (適時)	公文学習会（小学生週 3 日実施、幼児導入期間） 安全委員会（毎月の聞き取り） 個別聞き取り（市、西部） お祝い会（各世帯で子どもの良いところを褒め分かち合う時間をつくる。） ＊誕生日会（誕生日に各世帯で実施） ＊身体測定（身長体重を年 2 回以上） 法人内消防訓練（職員持ち回り） ＊防火訓練（土砂災害訓練、夜間訓練等年 1 回）	和太鼓練習 スイミングスクール 田中学習会/トライ学習塾 公文教室・1 対 1 ネット ふくだ塾 児童アフターケアひかり スマイルクラブ	運営会議（主任以上） 世帯会議/職員会議 ケース会議/OJT ミーティング 広養協各部会・会議等 小学校との連絡会 中学校との連絡会 各校授業参観 PTC あいさつ運動（小、中） 子ども会各部会
毎週	嘱託医来診（毎週木曜日）		

きずなの家分園は、家庭的養育を標榜しているため、時間で区切った明確な日課の設定はしていません。
世帯ごとに、子どもの年齢構成、状況に応じて、健康に留意し、社会通念から逸脱しない基本的な生活リズムを守ることが念頭に生活を送っております。

⑤ 実施行事 広島修道院保育園

広島修道院保育園		
月	年間行事	内 容
4	はじまりの会	・一つ大きくなったことを子ども、職員で祝い新年度をスタートした。
	空組クラス懇談会・交流会	・保護者同士も交流しながら、今年度の保育の目標等について伝えることができた。
5	月組・星組・きりん組 クラス交流会・懇談会	・年齢の発達や今年度の保育の目標について伝え、保護者同士も交流することができた。
6	卒園児交流会	・卒園児が植えたジャガイモを収穫し、近況報告など交流を楽しんだ。
	うさぎ組クラス交流会・ 懇談会	・年齢の発達や今年度の保育の目標について伝え、保護者同士も交流することができた。
	歯科検診・定期健康診断	・子どもたちの健やかな成長を見守るために実施
7	たなばた	・七夕の由来について知ると共に、宇宙へ興味が広がった。
	プールびらき	・夏のプール遊びが充実するようにできた。
	おとまり保育	・保育園で一泊し、色々な体験を通して、自主性・社会性・協力することの大切さを学んだ。
8	クラス参観	・各クラス3日間ずつ、夏のあそびやプールあそびの様子を見てもらうことができた。
9	お父さん保育応援日	・園庭・プール掃除・畑の草取りとお父さんに保育環境整備に貢献して頂いた。
10	うんどうかい	・子どもたちの成長を保護者と共に共有する場となった。
11	秋の遠足・散歩	・秋の自然を味わいながら、しっかりと歩いて全身運動としても保障できた。
	あきまつり	・夏が暑すぎて秋に開催する。どんぐりすくいや松ぼっくりつりなど秋ならではのコーナーや制作コーナーなどで親子での楽しい時間を作ることができた。
12	きりん組クラス交流会	・劇ごっこなど子どもの成長を保護者と共有し、親子での交流の場となった。
	星組クラス交流会	・園での子どもたちの様子、集団の中でのそれぞれの様子をを見て頂くことができ良かった。
	クリスマス会	・サンタクロースという夢の世界を広げ、楽しむことが出来た。
	もちつき	・昨年に引き続きもちつきを保護者の協力を得て開催し、日本の風習に触れることができた。
1	お父さん保育応援日	・春野菜のための畑作りをしていただき、保育環境整備に貢献して頂いた。
	ひよこ組クラス交流会	・感染症の流行のため実施を見送った。
2	節分会	・節分の由来を知り、日本の伝統行事を子どもなりに理解することにつながった。
	月空 はっぴょうのかい	・楽器あそび・劇あそびなど子どもの成長を保護者と共有した。
3	ひなまつり会	・ひなまつりの由来を知り、日本の伝統行事を子どもなりに理解し、楽しんだ。
	卒園式	・年長と年長の保護者のみの卒園式で和やかにお祝いすることができた。
	おわりの会	・大きくなった自信を胸に、進級することを楽しみにすることが出来た。

健康支援	・園医による内科健診年2回・歯科検診1回を行った。		
環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の清掃、消毒、安全管理及び月1回の自主点検		
安全対策 事故防止	・年1回の害虫駆除と大掃除 ・災害を想定して訓練をした。火事（毎月）、地震（年2回）、不審者（年3回）、プール遊び時に水難訓練1回、SIDS 対応訓練（4回）、土砂災害避難訓練（2回） ・交通安全の日・・・毎月19日前後を交通安全の日として、保育園だよりや門に旗を立て呼びかけ、園児にも指導した。 ・園外保育、調理保育におけるマニュアルの周知		
保護者支援	・育児ノート、連絡帳、送迎時の対話、園内の掲示による連携・行事を保護者支援の視点でも行うよう配慮		
小学校との連携	・幼保小連携推進委員会・尾長小との交流会 ・保育所児童保育要録の送付		
地域支援	・「保育園で遊ぼう」「わかばパパ、ママ教室」の実施		
研修計画	・園外研修への計画的な参加ができた。 ・園内研修を行う。	自己評価	・保育士の自己評価 ・保育所自己評価

広島修道院保育園の日課

	AM												
	7:30	8	9	10	11	12	PM 1	2	3	4	5	6	7
0歳・1歳・2歳児	順次登園 家庭との連絡・視診・検温		朝のおやつ 朝のつどい 排泄	クラス保育	昼食（離乳食） 排泄	午睡			目覚め おやつ（ミルク） 検温・排泄	あそび	順次降園 家庭との連絡	延長保育 18時30分～19時30分	
	AM												
	7:30	8	9	10	11	12	PM 1	2	3	4	5	6	7
3歳・4歳・5歳児	順次登園 家庭との連絡・視診	園庭あそび	朝のつどい	クラス別保育	昼食 昼食準備	午睡			おやつ	帰りのつどい 降園準備	あそび 順次降園 家庭との連絡	延長保育 18時30分～19時30分	

4 相談事業の状況について

〔児童家庭支援センター わかくさ〕

相談日時 10時～19時（水曜日及び年末年始は閉所）電話にて24時間受付可
相談員 主任相談員1名、相談員2名、心理療法等担当職員1名、児童等見守り担当職員1名
広報 広島市から関係機関へチラシを配布
特記事項 児童相談所や福祉事務所からの紹介も多く頂いている。

令和7年4月～令和8年3月 児童家庭支援センター運営事業実績報告書

県名： 広島県 センター名： 児童家庭支援センターわかくさ

A 相談件数（個別相談・指導） ※設置運営要綱4－（1）（4）の一部等に該当

1 個別相談

(1) 月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入人数	92	30	38	21	7	21	16	24	24	14	21	9	317
継続相談人数	0	56	73	92	90	93	88	90	85	104	94	112	977
月別相談実人数	92	86	111	113	97	114	104	114	109	118	115	121	1294

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

(2) 月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	191	185	146	160	158	188	116	117	161	176	164	143	1905
来所相談	54	56	51	39	39	23	37	37	23	40	29	31	459
訪問相談	90	106	89	101	80	76	127	131	115	96	98	130	1239
心理療法等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
メール相談	35	26	26	15	48	34	20	16	21	36	23	15	315
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
月別延件数	370	373	312	315	325	321	300	301	321	348	315	320	3921

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のこと>

(3) 相談・指導内容の種別延件数

※（再）は再掲

養 護 虐待（再）	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	DV	その他	合計
				性格行動	不登校	適 性	しつけ				
2904	819	14	0	0	72	108	7	354	0	462	3921

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

(4) 相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上本 人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
636	498	6	36	30	27	193	1488	0	997	0	0	10	3921

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

B 児童相談所からの委託による指導 ※設置運営要綱4－（3）に該当

< 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑥ 実人数 0 人 <※委託を受けた人数>

< 指導内容の種別 >

養 護 虐待（再）	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	その他	合計
				性格行動	不登校	適性	しつけ			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5 心理療事業の状況について

① 広島修道院

目 的 心理療法を行う職員を配置し、虐待による心的外傷のため心理療法を必要とする児童に遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、児童の安心感・安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り心的外傷を治療することにより児童の自立を支援する。

セラピスト 1 名（児童養護施設 広島修道院）

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
(2) 対象児童等に対する生活場面面接
(3) 職員への助言及び指導
(4) ケース会議への参加
(5) その他
・対象児童等に対する心理検査の実施

事業開始日 平成 11 年 7 月 1 日

心理療法実施数等 (1) 実施児童数 10 名（児童養護施設 広島修道院）
(2) 心理療法等の回数

内 容	回 数
	広島修道院
心理療法	114
心理検査	0
生活場面面接	適宜
施設職員等への助言及び指導	適宜
処遇検討会議への出席	25
掲示板での連絡	適宜
計	139

(3) 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	その他	計
3 歳～学齢前	0	0	0	0	0	0	0
小学生	2	6	0	0	0	0	8
中学生	0	0	0	0	0	0	0
高校生	1	1	0	0	0	0	2
計	3	7	0	0	0	0	10

心理療法人事業の状況について

② 広島修道院きずなの家

目 的 心理療法を行う職員を配置し、虐待による心的外傷のため心理療法を必要とする児童に遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、児童の安心感・安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り心的外傷を治療することにより児童の自立を支援する。

セラピスト 1 名（広島修道院 きずなの家）

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
(2) 対象児童等に対する生活場面面接
(3) 職員への助言及び指導
(4) ケース会議への参加
(5) その他
・対象児童等に対する心理検査の実施

事業開始日 平成 26 年 4 月 1 日

心理療法実施数等 (1) 実施児童数 15 名
(2) 心理療法等の回数

内 容	回 数
	きずなの家
心理療法	297
生活場面面接	適宜
施設職員等への助言及び指導	適宜
援助方針会議への出席	16
その他	67
計	380

(3) 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	その他	計
0～3 歳未満	0	0	0	0	0	0	0
3 歳～学齢前	0	3	0	0	0	2	5
小学生	2	0	0	0	0	6	8
中学生	0	1	0	0	0	1	2
高校生	0	0	0	0	0	0	0
計	2	4	0	0	0	9	15

心理療法事業の状況について

③ 広島乳児院

目的 心理療法を行う職員を配置し、虐待による心的外傷のため心理療法を必要とする児童に遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、児童の安心感・安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り心的外傷を治療することにより児童の自立を支援する。

セラピスト 1 名（広島乳児院）

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
(2) 対象児童等に対する生活場面面接
(3) 施設職員への助言等
(4) ケース会議への出席
(5) その他

事業開始日 平成 15 年 4 月 1 日

心理療法実施数等 (1) 実施児童数 12 名 （ほか、一時保護強化事業対象児 17 名）
(2) 心理療法等の回数

内 容	回 数
	広島乳児院
(1) 心理療法	0
(2) 生活場面面接	372
(3) 施設職員への助言等	適宜
(4) ケース会議への出席	36
(5) 一時保護強化事業対象児 行動観察記録票作成	17
こころのケア委員会およびミー ティングへの出席	1
院内会議・研修への出席（ケー ス会議以外）	14
各種研修への出席・報告書	7
計	447

(3)対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	計
0 歳児	1	0	0	0	0	1
1 歳児	0	3	0	1	0	4
2 歳児	0	5	0	1	0	6
3 歳児	0	1	0	0	0	1
計	1	9	0	2	0	12

6 学習指導促進事業の状況について

① 広島修道院

区 分	内 容								
実施日	小学生 ――― ホーム毎に週3回 中学生男子 ―― 未実施 中学生女子 ―― 未実施								
学習指導時間	小学生 ――― 午後3時30分～午後5時30分								
年間指導回数	小学生 ――― 120回（月12回×12か月） 中学生 ―――通塾 男子3名 年間48～96回 〃 女子3名 年間48～96回 ：各ホームによって回数・実施曜日が違う。長期休みにも実施								
延べ対象児童数 *小学生公文年 120 回とする。 る。	小学生	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	小 計	
		480	360	360	600	240	360	2,400 人 *前年 3,240 人	
	中学生	1 年	2 年	3 年	小 計	合 計			
		0	0	0	0	3,240 人			
指導科目	幼児 公文（教材・ズンズン 6A 5A4A）週1～2回6名 コグトレ週1回4名 小学生 ――― 公文（算数）・その他 コグトレ*小学生11名実施 中学生 ――― 通塾・学校課題 アフターケアひかり								
効果について	小学生の公文は原則全児対象（一部、途中入所の児童や、小学校の宿題の関係で実施できなかった児童がいた）。幼児は希望者のみ。各ホームで取り組みを工夫し、学習意欲を向上させることで、学習量が安定した。中三男子の学校課題提出の指導は難しく、今年度も課題となった。認知強化トレーニング（コグトレ）を、週1～2回 1回30分を実施した。日課として定着し、勉強が苦手な子も、自分から進んで学びに行く様子が見られた。								

② 広島修道院きずなの家 本園

区 分	内 容								
実施日	幼稚園児：週３回 小学生　：①週３回　②夏期・春期休暇 中学生　：週２回／週１回 高校生　：該当なし								
学習指導時間	幼稚園児：公文学習　各自帰院後週３回 小学生　：①公文学習（各自帰院後、週３回１５～３０分程度／１回） ②学習塾（夏・春休み　５０分／１回） 中学生　：①学習塾（週２回１名１８：００～２０：００／週１回１名１０：３０～１２：００） ②学習ボランティア（１９：００～２０：３０／１回） 高校生　：該当なし								
年間指導回数	幼稚園児—３０５回（女児年長２名） 小学生—　①７８４回（２年２名、３年２名、４年１名、５年１名） ②１０回（５年１名） 中学生—　①男子３８回　女子４０回（２年２名） ②学習ボランティア　６回（１・２年各１名） 高校生—　該当なし								
延べ対象児童数	小学生	１年	２年	３年	４年	５年	６年	小計	
		—	276	257	121	138	—	792人	
	中学生	１年	２年	３年	小計	合　計			
		3	82	—	85	877人			
指導科目	小学生 ——— 算数(公文)　②算数他								

	中学生 ――― 数学他
指導者名	小学生：①各担当職員 ②学習塾、(啓誠塾) 中学生：①学習塾 (啓誠塾・Kidswill) ②学習ボランティア 高校生：該当なし
効果について	・公文学習：子どもそれぞれの発達や特性を踏まえた進捗調整を行い、 計算力・集中力を向上させた。 ・小5児、学力補充の為、また次年度通塾を見通し夏期講習・春期講習へ参加。学力向上とま ではいれないが、通塾に向けた意識付けにはなった。

③ 広島修道院きずなの家 分園

区 分	内 容								
実施日	幼稚園児：①週 2 回以上 適宜 小学生：①毎週 3 回以上 適宜 中学生：①男子毎週（月・水・金）2 回 ②女子毎週（水・金）2 回 高校生：①男子毎週（日・月・木）3 回								
学習指導時間	幼稚園児：①週 3 回 30 分～40 分（公文学習）/1 回 小学生：①各自帰院後（公文学習）（夕方）30 分～40 分/1 回 中学生：①週 2 回～3 回（学習塾）（公文学習塾）2～3H/1 回 高校生：①公文学習塾週 2 回 1H アフターケアひかり週 1 回 1H								
年間指導回数	幼稚園児—公文 467 回（男児年中 1 名・男児年長 2 名、女児年中 1 名、女児年長 1 名） 小学生— ①公文（2 年 3 名、3 年 1 名、5 年 3 名）1,027 回 ②公文学習塾（3 年 1 名）80 回 中学生— ①学習塾：男子週 3（1 年 1 名、2 年 2 名、3 年 2 名）292 回 女子週 2（2 年 2 名）160 回 ②公 文：男子週 3（1 年 1 名）4 月～8 月 65 回 女子週 2（1 年 1 名）4 月～10 月 56 回 高校生—男子 1 名 ①公文学習塾 96 回 ②アフターケアひかり 48 回								
延べ対象児童数	小学生	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	小計	
		—	435	237	—	435	—	1,107 人	
	中学生	1 年	2 年	3 年	小計	合 計			
		113	320	84	517	1,624 人			
指導科目	小学生：算数（公文） 中学生：国語・英語・数学 高校生：数学・国語								
指導者名	小学生：①各担当職員 ②公文学習塾 中学生：②学習塾、 （田中学習会・学習塾トライ・ふくだ塾・一対一ネッツ） 高校生：③公文学習塾・アフターケアひかり								
効果について	・公文学習：子どもそれぞれの発達や特性を踏まえた進捗調整を行い、 計算力を向上させた。 ・学習塾：学力の向上につながっている。 中学生 3 年生男子 2 名は第一志望の高校に合格した。 高校生 1 年生男子 1 名学力の向上につながっている。								

7 退所児童自立相談事業の状況について

退所した者に対する相談や、児童の自立のための支援は児童養護施設の業務目的(児童福祉法第41条)とされています。令和6年度からは、社会的養護自立支援事業として広島修道院、きずなの家、アフターケアひかりの職員が連携してこれまで公的支援につながらなかった児童や退所児童並びに退所を控えた児童の自立にむけた相談・支援活動を行っています。

① 広島修道院

性別	年齢	相談支援回数	内 容
女	19	10	育児不安 生活雑談 その他
女	35	10	情緒不安定 育児不安
女	29	5	育児不安 その他
女	29	10	生活雑談 その他
男	29	2	生活雑談 その他
男	31	2	生活雑談
女	19	10	情緒不安定 その他
男	24	3	生活雑談 その他
男	24	10	金銭管理 その他
女	25	1	生活雑談 その他
女	20	4	近況報告 その他
男	38	5	生活困窮 精神的不調
男	41	2	転居の相談
男	47	2	生活困窮、金銭的支援の要請
女	21	3	職業相談
女	46	2	元配偶者自殺
男	21	3	生活相談(交通事故、成人式の出席など)
女	21	2	学業不振

② きずなの家

性別	年齢	相談支援回数	内 容
男	25	4	近況確認 生活の安定
男	35	4	近況確認 生活の安定
男	18	2	近況確認
女	21	1	近況確認 生活の安定
男	18	11	奨学金受給支援
男	20	2	近況確認 保護者との連絡
女	19	7	手続き作業の支援、生活の安定
女	19	24	近況確認 生活の安定

③ アフターケアひかり

性別	年齢	相談支援回数	内 容
女	30	1	その他
女	18	3	連絡調整、行政等手続き
男	40	1	その他
女	27	3	その他
男	32	1	その他
女	30	130	その他、心理療法支援、連絡調整、生活相談、行政等手続き、不安の解消・情緒安定(医療相談)、健康・医療、不安の解消・情緒安定(生活相談)
女	18	23	生活相談、不安の解消・情緒安定(生活相談)、その他、金銭管理、連絡調整、行政等手続き、就学・学業

男	21	5	連絡調整、その他
女	20	2	生活相談
男	18	75	その他、ステップハウス(住居支援)、生活相談、連絡調整、金銭管理、行政等手続き、就労・就職
女	24	1	連絡調整
女	22	3	その他
女	19	8	生活相談、就学・学業
女	17	2	生活相談
女	22	3	その他
女	25	21	生活相談、その他、健康・医療、連絡調整、不安の解消・情緒安定（生活相談）
女	21	38	生活相談、就労・就職、その他、連絡調整
男	22	4	生活相談、その他
女	30	93	その他、生活相談、不安の解消・情緒安定（生活相談）、心理療法支援、連絡調整、不安の解消・情緒安定（医療相談）
男	18	1	連絡調整
男	16	11	生活相談、連絡調整、心理療法支援、その他
女	20	223	就労・就職、生活相談、行政等手続き、心理療法支援、不安の解消・情緒安定（医療相談）、就学・学業、金銭管理、健康・医療、その他、不安の解消・情緒安定（生活相談）、連絡調整
女	18	11	不安の解消・情緒安定（生活相談）、生活相談、その他
女	23	4	その他、不安の解消・情緒安定（生活相談）
女	16	2	連絡調整、その他
男	10	2	その他、連絡調整
女	22	73	連絡調整、その他、行政等手続き、生活相談、不安の解消・情緒安定（生活相談）、不安の解消・情緒安定（医療相談）、健康・医療、就学・学業、就労・就職
男	19	5	連絡調整
男	19	16	心理療法支援、生活相談、その他、不安の解消・情緒安定（生活相談）、連絡調整
女	19	1	生活相談
女	27	4	心理療法支援、その他
女	23	2	生活相談
女	27	105	生活相談、心理療法支援、不安の解消・情緒安定（生活相談）、連絡調整、その他、就労・就職、不安の解消・情緒安定（医療相談）、行政等手続、健康・医療
女	10	1	心理療法支援
女	18	1	その他
女	11	1	その他
女	20	3	生活相談
女	53	58	その他、心理療法支援、生活相談
男	27	1	その他
男	19	5	生活相談、連絡調整
男	25	37	生活相談、連絡調整、健康・医療、心理療法支援、その他
女	18	5	生活相談、就学・学業
男	18	2	生活相談
女	20	224	生活相談、金銭管理、連絡調整、その他、不安の解消・情緒安定（生活相談）、心理療法支援、行政等手続き、不安の解消・情緒安定（医療相談）、就学・学業、健康・医療
女	20	1	生活相談
男	37	82	その他、不安の解消・情緒安定（医療相談）、健康・医療、生活相談、不安の解消・情緒安定（生活相談）、心理療法支援、連絡調整、金銭管理
男	20	3	連絡調整、その他
女	16	1	連絡調整
男	18	4	生活相談、連絡調整
女	19	10	その他、生活相談、連絡調整
男	18	2	連絡調整

男	32	2	その他
女	19	21	行政等手続、その他、連絡調整、生活相談
女	17	1	その他

8 各種保育事業の状況について

① 障害児保育事業

5歳児クラス 療育手帳 B 4H 加配職員を配置し、統合保育を行う。

4歳児クラス 療育手帳 B 8H 加配職員を配置し、統合保育を行う。

② 延長保育事業 18:30～19:30 (R6年度より)

(保護者の就労形態の多様化、通勤時間の延長に対する需要に対応するための実施)

延長保育の定員 19:30まで15名

延長保育利用児 10名 (中途の利用・中止児も含む)

③ きんさいみんなの保育園事業 (保育所地域活動事業の実施)

・異年齢児交流等事業

(在園児、卒園児、地域の子ども達との幅広い年齢層での関わりの中で日頃の活動では味わえない感情や社会性を養う。)

・育児・子育て支援事業

(子育てと仕事の両立を図る保護者や地域の子育て家庭へ支援の場とする。)

在園児の保護者対象 年1回の育児講座、

地域の子育て家庭対象、年3回の育児講座、 年10回の「保育園で遊ぼう」

9 職員の状況について

(1) 職員配置（令和8年3月31日現在）

① 広島修道院

施設長	個別・ 家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・ 保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	2	0	35	2	2	2	2	11	1	58

② 広島修道院きずなの家

施設長	個別・ 家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・ 保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	2	1	31	1			3	12	(1)	51

③ 広島乳児院

施設長	個別・ 家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・ 保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	2	1	26	1	9	4	2	8	1	55

④ 広島修道院保育園

施設長	保育士	事務員	調理員等	合計
1	22	1	4	28

⑤ 児童家庭支援センターわかくさ

施設長	相談・支援担当	心理療法担当	合計
(1)	4	1	5

⑥ 法人本部 役員1名

役員・職員数 198名(うち正職員136名、非常勤職員18名、パート・嘱託職員41名、嘱託医2名)

(2) 処遇の改善

① 健康管理の促進

ア 定期健康診断の充実を図った。

イ 精密検査（人間ドック）の推進を図った。

広島県民間社会福祉事業従事者互助会との連携による衛生検査の充実を図った。

ウ 産業医と共に衛生委員会の継続開催により健康管理の体制を整備した。

② 処遇改善手当の支給

給与規程等に基づき、広島市の交付要領に従い、対象職員へ支給した。

(3)-1 施設職員の研修状況等 ①広島修道院

※ 虐待等の防止に関する研修は、研修名の横に○を記入している。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会	5/23 6/10 7/7 9/12 10/24 11/6 1/23 2/20 3/12	10	[外] 加茂 陽 大下・中	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院) ○	ケーススタディ加茂勉強会			
院内勉強会	5/16 7/17 9/18 12/5 3/13	4	[外] 岡本 晴美 広島国際大学	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院)	循環型人財育成研修 H研			
院内勉強会	6/13 10/17 12/19 2/5	5	[外] 岡本 晴美 広島国際大学	保育士・児童指導員
広島修道院	循環型人財育成研修 S研			
院内勉強会	7/4 9/26 11/28 1/16	5	[外] 岡本 晴美 広島国際大学	保育士・児童指導員
広島修道院	循環型人財育成研修 1研①			
院内勉強会	7/18 10/2 12/12	7	[内] H研職員	保育士・児童指導員
広島修道院	循環型人財育成研修 1研②			
院内勉強会	5/28 6/25 7/30 8/27 9/24 11/25 3/25	2	[外] 松本 千賀子 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	施設長・保育士・児童指導員
広島修道院 ○	CSP 合同SV(Web)			
院内勉強会	2/10 2/27	2	[内] 兼光 一之 広島乳児院長	保育士・児童指導員
広島修道院 ○	CSP紹介講座			
院内勉強会	5/14 5/28 6/25 7/16 9/10 9/24 10/8 11/18 12/17 1/28 2/25	3	[外] 黒岡・中谷 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	保育士・児童指導員
広島修道院	3/18 CSP公式GFB(Web)			
院内勉強会	5/9 5/23 6/6 6/20 6/27 7/11	3	[外] 黒岡・中谷 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	保育士・児童指導員
広島修道院 ○	CSP学齢期版連続講座1クール目			
院内勉強会	5/13 5/20 5/27 6/17 7/1 7/8 7/18	3	[外] 黒岡・中谷 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	保育士・児童指導員
広島修道院 ○	CSP学齢期版連続講座2クール目			
院内勉強会	11/7 11/14 11/21 12/2 12/5 12/12 12/19	3	[外] 黒岡・中谷 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	保育士・児童指導員
広島修道院 ○	CSP学齢期版連続講座			
院内勉強会	1/14	25	[外] 佐藤 こぶしが丘学園	施設長・保育士・児童指導員
広島修道院	相関図に関する研修会			
院内勉強会	1/20	7	[外] 宇原 敏子	保育士・児童指導員
広島修道院	CAP大人向けワークショップ			
院内勉強会	10/23 10/27 10/29 10/30 10/31	25	[内] 新木 之博 事務局長	施設長・保育士・児童指導員
広島修道院	ハラスメント防止・公益通報研修会			
院内勉強会	3/25 3/26 3/27 3/28	5	[内] 施設長・総主任 先輩職員	保育士・児童指導員
広島修道院	児童・きずな合同新任研修			
院内勉強会				
広島修道院				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入している。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	研修企画担当者等養成研修 R07/04/23 ～ R07/04/24	西日本こども研修センターあかし	兵庫県	効果的な「研修デザイン」の基本を学ぶ	保育士	恵木
	第72回中国地区里親研修大会 R07/05/31 ～ R07/06/01	公財)全国里親会他	岡山県	安心感のある家庭養育のために	保育士、施設長	恵木、山村
	新任職員等研修会 R07/06/13	山口県児童福祉安全委員会連絡協議会	山口県	安全委員会方式の基本的知識と理解を深める	主任児童指導員、児童指導員	上田、鈴木
	広養協新任職員研修 R07/06/17 ～ R07/06/18	広島県児童養護施設協議会	広島県	施設見学他	児童指導員	曾我、堀川、岡崎
	第53回広養協キャンプ指導者研修 R07/06/23 ～ R07/06/24	広島県児童養護施設協議会	広島県	現場視察・プログラムの事前体験	保育士	杉本
	スーパービジョン研修 R07/06/23 ～ R07/07/30	広島県社会福祉協議会	広島市	支援力を高め、職員を支えるスーパービジョン	児童指導員、主任児童指導員	片岡、上田
	第62回中国地区児童養護施設研究協議会 R07/07/02 ～ R07/07/04	中国地区児童養護施設協議会・鳥取県児童養護施設協議会	鳥取県	児童養護施設の現在地と未来	里親支援専門相談員、児童指導員、施設長	藤井、伊達、山村
	広島市社会福祉施設新任職員研修 R07/07/14	広島市社会福祉協議会	広島市	職場内の権利擁護、接遇マナー	児童指導員	田浦、岡崎、曾我
	福祉職のための伝え方研修 R07/07/16	広島県社会福祉協議会	広島市	納得してもらえる伝え方とは	主任児童指導員、里親支援専門相談員、看護師	上田、藤井、小川
	社会福祉士実習指導者講習会 R07/08/20 ～ R07/08/21	しかくの学校ホットライン	京都府	専門的知識および教育方法等の習得	児童指導員	山根
	乳児院職員指導者研修 R07/08/20 ～ R07/08/22	西日本こども研修センターあかし	兵庫県	乳児院における予防的支援とチームアプローチ	保育士	有家
	第19回FCPファシリテーター養成講座 R07/08/27 ～ R07/09/02	一般社団法人無憂樹	東京都	里親のためのトレーニングプログラム	事務員	矢原
	第20回西日本児童養護施設職員セミナー香川大会 R07/09/09 ～ R07/09/11	四国ブロック・近畿・中国・九社連・香川県養協	香川県	社会的養育推進計画後半戦 ～新たなステージへ～	保育士、児童指導員	宅間、片岡
	第69回中国・四国地区乳児院研究協議会 R07/09/17 ～ R07/09/19	中国・四国地区乳児院協議会	岡山県	こどもたちの笑顔のために～乳児院ができること～	児童指導員	梶岡
○	中国四国地区児童家庭支援センター協議会研修会 R07/09/25 ～ R07/09/26	中国四国地区児童家庭支援センター協議会	広島県	「つながり続ける実践」～こどもと家庭の背景を紐解き紡ぐ～	児童指導員、主任心理療法士、主任個別対応職員、保育士	山根、武内、宮崎、恵木
	えんじゅ年次大会 R07/10/06 ～ R07/10/07	NPO法人えんじゅ	京都府	分科会、講義	主任保育士	山根
	第70回全国里親大会北海道大会・北海道地区里親研修 R07/10/11 ～ R07/10/12	こども家庭庁・北海道・札幌市・公財)全国里親会・一社)北海道	北海道	すべてのこどもに家庭が必要～里親家庭で共に未来を	保育士、施設長	恵木、山村
	養子縁組あつせん機関等交流促進研修 R07/10/14	山田コンサルティンググループ(株)教育研修事業部	福岡県	各機関の実務役割の理解、連携強化	事務員	矢原
	全国自立援助ホーム協議会 第30回記念 大阪大会 R07/10/23 ～ R07/10/24	全国自立援助ホーム協議会	大阪府	つなぐ、つながる	主任個別対応職員	宮崎
○	全国児童福祉安全委員会連絡協議会第16回全国大会 R07/10/28 ～ R07/10/29	全国児童福祉安全委員会連絡協議会	広島県	こどもまんなか安全委員会	主任児童指導員、児童指導員、施設長	上田、山根、山村

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
広養協 第2回食育部会 R07/10/29		広島県児童養護施設協議会	広島県	施設見学他	総主任栄養士	佐藤
第3回広養協心理ケア部会 R07/10/30		広島県児童養護施設協議会	広島市	意見交換他	主任心理療法士	武内
東区・安芸区合同給食施設 従事者講習会 R07/10/31		広島市保健所	広島市	食中毒予防のための衛生管理～厨房の清掃のポイント～	栄養士	西村
沖縄・にじのしずく留学プログラム R07/11/02 ～ R07/11/04		NPO法人えんじゅ	沖縄県	事務所訪問、フィールドワーク他	主任保育士	山根
第7回中国四国地区乳児院 看護研修会 R07/11/04 ～ R07/11/05		中国四国地区乳児院協議会	広島市	ミーティング、施設見学他	看護師	小川、城田
施設見学 R07/11/10		広島修道院	福島県	児童養護施設 白河学園	総主任保育士	河本
第78回全国児童養護施設長 研究協議会 R07/11/11 ～ R07/11/13		全社協・全養協・福島県社協 児童福祉施設部会	福島県	子供が未来を思い描く養育とは	総主任保育士	河本
広島市社会福祉施設経営者・施設長等研修 R07/11/18		広島市社会福祉協議会	広島市	人口減少社会における新卒採用と施設の魅力発信について	施設長	山村
ライフストーリーワーク R07/11/19		一般社団法人無憂樹	広島市	困難な事例のケース検討	主任心理療法士	武内
広養協中堅職員研修会 R07/11/25 ～ R07/11/26		広島県児童養護施設協議会	広島市	講話、施設見学他	児童指導員	山根
福祉職員キャリアパス対応 生涯研修過程 R07/11/26 ～ R07/11/27		広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを磨き、期待に応える	保育士	塚迫、菊池
広島市児童福祉施設連盟職員研修 R07/11/28		広島市児童福祉施設連盟	広島市	施設見学、概要説明他	調理員等	藤野
社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 R07/12/04 ～ R07/12/05		全社協・全養協・全乳協・全母協・全心協・全自協	岡山県	講義、分科会他	施設長	山村
第3回「養護ひろしま」編集委員会 R07/12/09		広島県児童養護施設協議会	広島市	第63号の作成について	児童指導員	西川
里親支援センター等人材育成 R07/12/10 ～ R07/12/11		日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY	愛知県	家庭養護のさらなる推進と、社会的擁護の質の向上	保育士	恵木
第4回施設長会・第2回連絡調整会 R07/12/18		広島県児童養護施設協議会	広島市	行事振り返り、部会報告他	施設長	山村
広島で対人援助を学ぶ会 R07/12/20		広島で対人援助を学ぶ会 事務局	広島市	「家族を理解する、味わう、応援する」	主任保育士	山根
特定給食施設等給食関係者研修会 R08/01/14		広島市保健所	広島市	日本人の食事摂取基準2025年度版の改定のポイントと活用の基本	栄養士	西村
養育・権利擁護セミナー R08/01/21		全国児童養護施設協議会	岡山県	講義、実践発表および共有	主任児童指導員	上田
施設見学 R08/01/22		広島修道院	岡山県	地域小規模施設	主任児童指導員	上田

広島修道院

※○印は虐待研修

[illegible]

(3)-2 施設職員の研修状況等 ②きずなの家本園

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入している。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院きずなの家

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会	①5/16、②7/17、③9/18、④12/5、⑤3/13	8	[外] 岡本 晴美 広島国大教授	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Hold(リーダー編)			
院内勉強会	①4/23、②5/28、③6/28、④7/30、⑤8/27、⑥9/18、⑦10/22、⑧12/17、⑨2/4 毎月第4水曜日	1	[外] 松本 千賀子 Com子育て デザインルーム理事長	施設長
(広島修道院きずなの家)	○ CSP 幹部FB			
院内勉強会	①9/3、②9/10、③9/17、④9/24 ⑤10/1 ⑥10/8、⑦10/15 毎週水曜計7回	2	[外] 黒岡・森本 Com子育て デザインルーム	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ CSP 学齢期版連続講座			
院内勉強会	①6/13、②10/17、③12/9、④2/6	5	[外] 岡本 晴美 広島国大教授	保育士・児童指導員・心理士
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Smile(中堅編)			
院内勉強会	①5/20、②6/16、③9/30、④10/27、⑤11/10	18	[外] 加茂 陽 広島県立大学名誉教授	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ ケース会議			
院内勉強会	①7/4、②9/18、③11/28、④1/16	3	[外] 岡本 晴美 広島国大教授	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Idea(中堅編)			
院内勉強会	①7/18、10/2、12/12	2	[外] 岡本 晴美 広島国大教授	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Ideaー2(中堅編)			
院内勉強会	5/19	5	[外] 平位 郁代 くもん教育研究会 法人営業部	保育士・児童指導員・心理士
(広島修道院きずなの家)	公文新任研修			
院内勉強会	10/23、10/27、10/29、10/30、10/31 計5回	18	[内] 新木事務局長 法人事務局	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ ハラスメント研修			
院内勉強会	1/20	7	[外] 宇原 特定非営利活動法人 CAP広島	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ CAP大人向けワークショップ			
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				

(注)「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入している。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
	別紙		
()			

(3)-3 施設職員の研修状況等 ③きずなの家分園

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入している。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院きずなの家

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	人数	講 師	参 加 職 種
院内勉強会	①5/16、②7/17、③9/18、④12/5、⑤3/13	4	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Hold(10年以上)			
院内勉強会	①6/13、②10/17、③12/19、④2/5	6	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	保育士・児童指導員・心理士
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Smile(5～9年目)			
院内勉強会	①7/4、②9/18、③11/28、④1/16	4	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Idea①(2年目)			
院内勉強会	①7/18、②10/2、③12/12	3	[外] 前田施設長他H研メンバー H研メンバー	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Idea②(3.4年目)			
院内勉強会	①4/23、②5/28、③6/28、④7/30、⑤8/27、⑥9/18、⑦10/22、⑧12/17、⑨2/4	1	[外] 松本 千賀子 Com子育てデザインルーム理事長	児童指導員
(広島修道院きずなの家)	CSP 幹部FB(ZOOM) 毎月第4水曜日			
院内勉強会	①5/19、②6/24、③7/15、④9/16、⑤10/14、⑥11/28、⑦1/22、⑧2/24	21	[外] 加茂 陽 広島県立大学名誉教授	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ ケース会議			
院内勉強会	5/19	2	[外] 平位 郁代 公文教育研究会 法人事業部	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	公文全体研修(新任研修)ZOOM			
院内勉強会	①9/3、②9/10、③9/17、④9/24、⑤10/1、⑥10/8、⑦10/15	2	[外] 東野・黒岡 Com子育てデザインルーム	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ CSP学齢期版正規セッション 全7回			
院内勉強会	10/23、10/27、10/28、10/29、10/30	19	[内] 新木事務局長 法人事務局	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ ハラスメント研修(5回)			
院内勉強会	1/20	5	[外] 宇原 特定非営利活動法人	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	CAP大人向けワークショップ			
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入している。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
○	養育・権利擁護セミナー R07/01/21	全国児童養護施設協議会	岡山県	講義、実践発表、グループ討議	心理療法士	岡田
	第72回中国地区里親研修大会 R07/05/31 ～ R07/06/01	公財)全国里親会他	岡山県	安心感のある家庭養育のために	施設長	前田
	新任職員等研修会 R07/06/13	山口県児童福祉安全委員会連絡協議会	山口県	安全委員会方式の基本的知識と理解を深める	児童指導員	西原
	広養協新任職員研修 R07/06/17 ～ R07/06/18	広島県児童養護施設協議会	広島県	施設見学他	保育士、児童指導員、保育士	市場、木下、江上、山本
	第53回広養協キャンプ指導者研修 R07/06/23 ～ R07/06/24	広島県児童養護施設協議会	広島県	現場視察・プログラムの事前体験	保育士	藤枝
	スーパービジョン研修 R07/06/23 ～ R07/07/30	広島県社会福祉協議会	広島市	支援力を高め、職員を支えるスーパービジョン	児童指導員、保育士	住吉、大下
	第62回中国地区児童養護施設研究協議会 R07/07/02 ～ R07/07/04	中国地区児童養護施設協議会・鳥取県児童養護施設協議会	鳥取県	児童養護施設の現在地と未来	施設長、主任児童指導員、保育士	前田、藤田、島崎
	広島市社会福祉施設新任職員研修 R07/07/14	広島市社会福祉協議会	広島市	職場内の権利擁護、接遇マナー	保育士、児童指導員、保育士	江上、木下、山本、市場
	管理職・経営者のための苦情対応マネジメント研修 R07/08/18 ～ R07/10/17	広島県社会福祉協議会	広島市	～組織としての苦情解決の仕組みを考える～	施設長、総主任児童指導員、主任家庭支援専門相談、主任児童指導	前田、中山、大久保、天本、藤田、西川、田島
	第20回西日本児童養護施設職員セミナー香川大会 R07/09/09 ～ R07/09/11	四国ブロック・近畿・中国・九社連・香川県養協	香川県	社会的養育推進計画後半戦 ～新たなステージへ～	保育士、児童指導員	渡辺、折田
○	中国四国地区児童家庭支援センター協議会研修会 R07/09/25 ～ R07/09/26	中国四国地区児童家庭支援センター協議会	広島県	「つながり続ける実践」～こどもと家庭の背景を紐解き紡ぐ～	施設長、児童指導員、総主任児童指導員	前田、森田、中山
	対人援助職のストレスマネジメント研修 R07/09/29	広島県社会福祉協議会	広島市	自分を大切にすることで、よりよい支援につなげる	保育士、児童指導員	青山、吉田
○	全国児童福祉安全委員会連絡協議会第16回全国大会 R07/10/28 ～ R07/10/29	全国児童福祉安全委員会連絡協議会	広島県	こどもまんなか安全委員会	施設長、保育士、児童指導員	前田、落畑、藤岡、折田
	第78回全国児童養護施設長研究協議会 R07/11/11 ～ R07/11/13	全社協・全養協・福島県社協 児童福祉施設部会	福島県	子供が未来を思い描く養育とは	施設長	前田
	広島市社会福祉施設経営者・施設長等研修 R07/11/18	広島市社会福祉協議会	広島市	人口減少社会における新卒採用と施設の魅力発信について	施設長	前田
	広養協第1回研修部会 R07/11/20	広島県児童養護施設協議会	広島県	質疑研修部会	保育士	滝口、今田
	広養協中堅職員研修会 R07/11/25 ～ R07/11/26	広島県児童養護施設協議会	広島市	講話、施設見学他	保育士	落畑
	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程 R07/11/26 ～ R07/11/27	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを磨き、期待に応える	保育士	吉崎
	広島市児童福祉施設連盟職員研修 R07/11/28	広島市児童福祉施設連盟	広島市	施設見学、概要説明他	保育士	武内
	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 R07/12/04 ～ R07/12/05	全社協・全養協・全乳協・全母協・全心協・全自協	岡山県	講義、分科会他	施設長	前田

広島修道院きずなの家

※○印は虐待研修

[illegible]

(3)-4 施設職員の研修状況等 ④広島乳児院

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入している。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島乳児院

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	人数	講 師	参 加 職 種
院内勉強会	4/25	10	[内] 乳児院長 兼光 一之	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	新任研修 理念・基本方針			
院内勉強会	5/23	10	[内] 総主任 梶原 妙子	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	新任研修 保育看護			
院内勉強会	6/24	4	[内] 総主任 藤本 真紀	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	新任研修 権利擁護			
院内勉強会	7/23	20	[外]NPO法人CAP広島 宇原 敏子	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	乳幼児の権利擁護について			
院内勉強会	10/18	20	[外] 安佐市民病院 河村 迅	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	食事動作の発達他			
院内勉強会	6/9、8/25、12/8	51	[外] 児童精神科医 黒崎 充勇	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	黒崎勉強会 事例検討①、②、③			
院内勉強会	7/25、8/26	8	[内] 主任・総主任 大峠・藤本	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	新任研修 乳児保育・里親支援			
院内勉強会	9/9	10	[外] 広島赤十字社 井山先生	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	新任研修 日赤幼児安全法講習会			
院内勉強会	2/9うめ、2/24すみれ、3/4たんぽぽ	18	[内] 市療育センター 重正先生・原田先生	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	施設支援ST①、②、③			
院内勉強会	10/23、27、29、30、31	43	[内] 事務局長 新木 之博	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	ハラスメント防止・公益通報研修会			
院内勉強会	10/22、11/26	8	[内] 主任・家庭支援 隅原・大田	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	新任研修 養育・家庭支援			
院内勉強会	1/23	4	[内] 主任栄養士 岡 恵梨子	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	新任研修 栄養・食育			
院内勉強会	1/23	4	[内] 乳児院長 兼光 一之	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	新任研修 まとめ			
院内勉強会	3/10	16	[外] 児童精神科医 黒崎 充勇	保育士・児童指導員
(広島乳児院)	事例検討会 うめ			

(注)「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入している。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
○	第7回乳児院医療・看護セミナー R07/02/18	全社協・全国乳児福祉協議会	東京都	講義、実践報告、グループワーク他	看護師	島本
	福祉施設・事業所新卒採用者研修 R07/05/13 ～ R07/05/14	広島県社会福祉協議会	広島市	「福祉職として」「組織人として」の基本姿勢を学ぼう	保育士、児童指導員	金広、藤井、石井
○	第1回広養協心理ケア部会 R07/05/15	広島県児童養護施設協議会	広島市	情報共有他	心理療法士	森田
	第72回中国地区里親研修大会 R07/05/31 ～ R07/06/01	公財) 全国里親会他	岡山県	安心感のある家庭養育のために	総主任保育士、主任看護師	藤本、竹内
	防災宿泊研修 R07/06/10 ～ R07/06/11	広島市防火連絡協議会	広島市	防災講座、避難・消火訓練他	保育士	山本、櫻本
	新任職員等研修会 R07/06/13	山口県児童福祉安全委員会連絡協議会	山口県	安全委員会方式の基本的知識と理解を深める	主任保育士、保育士、施設長	宮本、高島、兼光
	広養協新任職員研修 R07/06/17 ～ R07/06/18	広島県児童養護施設協議会	広島県	施設見学他	看護師	佐々木
	スーパービジョン研修 R07/06/23 ～ R07/07/30	広島県社会福祉協議会	広島市	支援力を高め、職員を支えるスーパービジョン	看護師、保育士	島本、木寺
	第62回中国地区児童養護施設研究協議会 R07/07/02 ～ R07/07/04	中国地区児童養護施設協議会・鳥取県児童養護施設協議会	鳥取県	児童養護施設の現在地と未来	児童指導員	松尾、眞鍋
	第2回防災宿泊研修 R07/07/08 ～ R07/07/09	広島市防火連絡協議会	広島市	防災講座、避難・消火訓練他	保育士	伊藤
	第2回広養協心理ケア部会 R07/07/10	広島県児童養護施設協議会	広島県	施設見学、情報共有	心理療法士	森田
	スーパービジョン研修会 R07/07/14 ～ R07/07/16	全社協・中央福祉学院	神奈川県	人材の尊厳：育成から開発へ	保育士、主任看護師	松井、吉岡
	第68回全国乳児院研修会 R07/07/30 ～ R07/07/31	全社協・全国乳児福祉協議会	東京都	基調報告、講演、分科会他	総主任保育士、保育士、主任栄養士、主任児童指導員、家庭支援専	藤本、吉野、岡、武智、草地
	OJT推進研修 R07/09/04	広島県社会福祉協議会	広島市	後輩職員の成長を後押しするための、OJTの具体的な進め方	保育士、児童指導員、保育士	池田、岡田、兵後
	第20回西日本児童養護施設職員セミナー香川大会 R07/09/09 ～ R07/09/11	四国ブロック・近畿・中国・九社連・香川県養協	香川県	社会的養育推進計画後半戦 ～新たなステージへ～	保育士	平山
	食育講座②（調理員対象） R07/09/17	広島市保育連盟	広島市	「保育園」という生活の場における食育	栄養士	山本
	第69回中国・四国地区乳児院研究協議会 R07/09/17 ～ R07/09/19	中国・四国地区乳児院協議会	岡山県	こどもたちの笑顔のために～乳児院ができること～	保育士、施設長、保育士、看護師	西田、兼光、室山、木村
	第1回広養協家庭里親支援部会 R07/09/19	広島県児童養護施設協議会・家庭里親支援部会	広島市	行政報告・情報提供・意見交換	保育士、総主任保育士	大田、藤本
○	中国四国地区児童家庭支援センター協議会研修会 R07/09/25 ～ R07/09/26	中国四国地区児童家庭支援センター協議会	広島県	「つながり続ける実践」～こどもと家庭の背景を紐解き紡ぐ～	施設長、個別対応職員、保育士	兼光、草地、堀内
	対人援助職のストレスマネジメント研修 R07/09/29	広島県社会福祉協議会	広島市	自分を大切にすることで、よりよい支援につなげる	保育士	中崎

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	第7回中国・四国地区乳児院栄養士研修会 R07/10/01 ～ R07/10/02	中国・四国地区乳児院協議会	広島県	意見交換他	栄養士	米田
	里親支援センター等人材育成プログラム R07/10/06 ～ R07/10/07	日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY	岡山県	家庭養護のさらなる推進と、社会的擁護の質の向上	主任看護師	竹内
	東区・安芸区合同給食施設従事者講習会 R07/10/10	広島市保健所	広島市	“食べたい”をかなえる！～噛む・飲み込む力に応じた食支援～	主任栄養士	岡
	第70回全国里親大会北海道大会・北海道地区里親研修 R07/10/11 ～ R07/10/12	こども家庭庁・北海道・札幌市・公財)全国里親会・一社)北海道	北海道	すべてのこどもに家庭が必要～里親家庭で共に未来を	総主任保育士、主任看護師	藤本、竹内
	養子縁組あっせん機関等交流促進研修 R07/10/14	山田コンサルティンググループ(株)教育研修事業部	福岡県	各機関の実務役割の理解、連携強化	主任看護師	竹内
	第74回全国乳児院協議会 R07/10/23 ～ R07/10/24	全社協・全国乳児福祉協議会	富山県	地域との連携協働で支えるこどもと家族	施設長	兼光
○	全国児童福祉安全委員会連絡協議会第16回全国大会 R07/10/28 ～ R07/10/29	全国児童福祉安全委員会連絡協議会	広島県	こどもまんなか安全委員会	施設長、主任保育士、保育士	兼光、宮本、高島
	第3回広養協心理ケア部会 R07/10/30	広島県児童養護施設協議会	広島市	意見交換他	心理療法士	森田
	東区・安芸区合同給食施設従事者講習会 R07/10/31	広島市保健所	広島市	食中毒予防のための衛生管理～厨房の清掃のポイント～	栄養士	山本
	第6回中国四国地区乳児院に勤務する心理士の会 R07/10/31 ～ R07/11/01	中国四国地区乳児院協議会	愛媛県	アタッチメントについて他	心理療法士	森田
	広島市児童相談所職員研修 R07/11/04	広島市児童相談所	広島市	支援者の中で抱える困難と支援者のケア	保育士	山下
	第7回中国四国地区乳児院看護研修会 R07/11/04 ～ R07/11/05	中国四国地区乳児院協議会	広島市	ミーティング、施設見学他	施設長、総主任看護師、主任看護師、看護師	兼光、梶原、吉岡、竹内、島本、木村、佐々木、西矢
	中国四国地区乳児院協議会里親支援研修会 R07/11/13 ～ R07/11/14	中国四国地区乳児院協議会	徳島県	発達が気になる子どもの里親委託と委託後の支援	総主任保育士、保育士	藤本、大田
	カスタマーハラスメント防止講習会 R07/11/20	社会福祉法人福利厚生センター（ソウェルクラブ）	広島市	カスタマーハラスメントの基礎知識、対処法、組織的に対応する仕	施設長	兼光
	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程 R07/11/26 ～ R07/11/27	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを磨き、期待に応える	保育士	兵後、木寺
	広島市児童福祉施設連盟職員研修 R07/11/28	広島市児童福祉施設連盟	広島市	施設見学、概要説明他	保育士、調理員等	東元、土井、桐下
	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 R07/12/09 ～ R07/12/10	全社協・全養協・全乳協・全母協・全心協・全自協	東京都	講義、分科会他	施設長	兼光
○	ファミリーソーシャルワーク研修会 R07/12/10 ～ R07/12/11	全国社会福祉協議会	神奈川県	社会的養護施設等による地域の子ども・子育て支援の展開に向けて	保育士、総主任保育士	大田、藤本
	特定給食施設等給食関係者研修会 R08/01/14	広島市保健所	広島市	日本人の食事摂取基準2025年度版の改定のポイントと活用の基本	栄養士	米田
	里親支援センター等人材育成プログラム スペシャル R08/01/16	日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY	福岡県	～実践から学び、広げる里親支援と人材育成～	主任看護師	竹内

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	施設見学 R08/01/19 ～ R08/01/20	広島乳児院	宮城県	支援の質向上と体制強化	主任栄養士、主任看護師、心理療法士、個別対応職員	岡、吉岡、森田、草地
	第2回フォローアップ講座 R08/01/23	立命館大学人間科学研究所	広島市	事例検討会	主任看護師、総主任保育士	竹内、藤本
	CARE R08/01/29	広島県	広島市	子と大人の絆を深めるプログラム	保育士	市川、伊藤
	中国・四国地区乳児院協議会施設長会議 R08/02/05 ～ R08/02/06	中国・四国地区乳児院協議会	岡山県	今年度活動報告、次年度活動計画他	施設長	兼光
	施設心理職員合同研修 R08/02/12 ～ R08/02/13	子どもの虹情報研修センター	広島市	効果的な心理支援を提供する技能の向上	心理療法士	森田
	児童相談所とその近接領域における家族療法・家族援助の実践 第3 R08/02/14 ～ R08/02/15	児童相談所とその近接領域における家族療法・家族援助の実践 第3	山口県	こどもまんなか その先へ	主任保育士、総主任保育士、主任看護師	大峠、藤本、竹内
	第14回乳児院上級職員セミナー R08/02/16 ～ R08/02/17	全社協・全国乳児福祉協議会	東京都	基調報告、講義、ロールプレイ他	総主任看護師	梶原
	Watch Me Play！の理解 R08/02/17	家庭養育支援機構	広島市	一遊びを使った子どもの支援ー	総主任保育士、主任看護師、保育士	藤本、竹内、水橋、阿黒
	全国児童養護問題研究会西日本研究会 R08/02/21 ～ R08/02/22	全国児童養護問題研究会	広島市	未来をにいうこどもたちに仲間とつくろう豊かな実践を	総主任保育士、保育士、主任個別対応職員、保育士	藤本、大田、隅原、山下
	第3回フォローアップ講座 R08/02/23	立命館大学人間科学研究所	京都府	ファミリーホーム＜咲く＞の実践に学ぶ社会的な子育てと自立	主任看護師	竹内
	FCPフォローアップミーティング R08/02/27	一般社団法人無憂樹	広島市	実施報告および状況報告	総主任保育士、保育士	藤本、大田
	里親支援センター長カンファレンス R08/03/11 ～ R08/03/12	日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY	東京都	情報交換、ネットワーク構築	総主任保育士	藤本
	広島でワークディスカッションを学ぶ R08/03/20	広島ワークディスカッション研究会	広島市	心理療法の届かぬ過酷な現場で生き残る方法とその実践	心理療法士	森田

(3)-5 施設職員の研修状況等 ⑤広島修道院保育園

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入している。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院保育園

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	人数	講 師	参 加 職 種
園内勉強会	5/10	4	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	食農について			
園内勉強会	6/26	13	[外] 日本赤十字社 指導員 脇谷孔一	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	救命救急講習			
園内勉強会	5/2 ～ 12/9	53	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	自然保育について(8回)			
園内勉強会	11/7	10	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	尾長山で遊ぶとは？			
園内勉強会	4/22 ～ 8/2	8	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	障害児保育について			
園内勉強会	4/3 ～ 2/12	33	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	クラス会議(各クラス11回)			
園内勉強会	10/9 ～ 10/22	21	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	○ 人権勉強会			
園内勉強会	8/19	11	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	平和勉強会			
園内勉強会	10/30 ～ 11/12	17	[内] 新木 之博 事務局長	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	ハラスメント防止・公益通報研修会			
園内勉強会	5/10	11	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	安全マップづくり			
園内勉強会	5/10 ～ 11/26	7	[内] 竹内総主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	うた・リズムについて(2回)			

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入している。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	木ままや保育セミナー R07/05/11	木のおもちゃと器のお店 木ままや	広島市	脳と心を豊かに育てる保育	総主任保育士、主任保育士	竹内、小倉
	年度初めの施設長対象研修会 R07/05/13	広島市私立保育協会	広島市	発達障害のある幼児の特性に応じた年度初めに行うべき配慮と指導	施設長	平田
	【幼児期】子どもの運動遊び研修会 R07/05/19	広島県スポーツ推進課	広島市	理論・体幹を介した動きの実践ほか	保育士	本島
	障害児保育担当保育士研修会 R07/05/20	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	統合保育の意義と保護者支援、障害児保育の指導計画・記録及び評	保育士	穴井
	障害児保育担当保育士研修会・障害児別研修（知的障 R07/06/04	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	知的障害児の理解と保育	保育士	穴井
	健康・安全講座 第1回目 R07/06/13	広島市保育連盟	広島市	子どもの事故とその対策「生命を守るための最新知識、技術、方法」	保育士	福島
	第64回全国保育問題研究集会・石川集会 R07/06/13 ～ R07/06/15	全国保育問題研究協議会	石川県	誰しものが人間としてゆたかに生きるために、私たちは諦めない	保育士	田川
	発達障害者支援者研修 R07/06/23	広島県発達障害者支援センター	広島市	集団場面における見立てと支援、保護者支援のポイント	保育士	紙谷
	第1回ひろしま自然保育資質向上研修 R07/06/25	広島県健康福祉局安心保育推進課	広島県	自然物を用いた遊び場の作り方	総主任保育士	竹内
	人権啓発講座 R07/06/25	広島市保育連盟	広島市	人権について考える～こどもの人権を通して～	保育士	有地
	あそびと発達の講座 第1回 R07/06/27	広島市保育連盟	広島市	子供のように絵本を読む。昔話のもつメッセージを知る	保育士	太田
	雨庭と自然豊かな園庭づくりシンポジウム R07/06/28	くまもと雨庭パートナーシップ・(株)マートエデュケーション	広島市	講義（雨庭、園庭環境づくりについて他）	総主任保育士	竹内
	統合保育と加配保育士の役割 R07/06/30	広島市こども未来局幼保企画課	広島市		保育士	紙谷
	第1回広島市幼稚園教諭・保育士新規採用者合同研修 R07/07/02 ～ R07/07/14	広島市（こども未来局・教育委員会）	広島市	こどもと共に保育を愉しむことに向かって（講話。グループワーク	保育士	太田、川村、大沼
	体験を通して考える「発達 が気になる子」の理解と支 R07/07/04	広島市私立保育協会	広島市	講演、質疑応答	保育士	谷口
	子ども（幼児期）の運動遊び研修 R07/07/07	広島県スポーツ推進課	広島市	運動あそびの新しい知識	保育士	田嶋
	自然保育実践者のための危険生物対策講座 R07/07/15	広島県健康福祉局安心保育推進課	広島市	危険生物とは、死者の多い危険生物について	保育士	谷口
	HANAセミナー R07/08/02	HANA音楽研究所	広島市	講習（うたあそび、器楽合奏他）	保育士	田嶋
	森のようちえん 自然保育講習会 R07/08/09 ～ R07/08/10	NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟	東京都	講義、野外散策他	総主任保育士	竹内
○	虐待に関する講座 1回目 R07/08/28	広島市保育連盟	広島市	みんなの幸せのために～不適切な保育について考える～	保育士	有馬

[illegible]

(3)-6 施設職員の研修状況等 ⑥児童家庭支援センターわかくさ

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入している。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

児童家庭支援センターわかくさ

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	人数	講 師	参 加 職 種
院内勉強会	10/27、10/29、10/31、11/6	5	[内] 新木 之博 事務局長	保育士・児童指導員
(本部)	ハラスメント防止・公益通報研修会			
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入している。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

[illegible]

(3)-7 施設職員の研修状況等 ⑦本部

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入している。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

本部

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	人数	講 師	参 加 職 種
院内勉強会	10/23 10/27 10/29 10/30 10/31	8	[内] 新木 之博 事務局長	本部事務員
(本部)	ハラスメント防止・公益通報研修会			
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入している。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

本部

※○印は虐待研修

[illegible]

10 北村基金の状況について

(1) 収入 寄付金 0 円

(2) 支出

① 奨学金	4 件	800,000 円
② 職員表彰 (勤続 10 年)	6 件	69,300 円
③ 児童表彰	5 件	23,760 円

11 施設設備等の整備状況について

(1) 乳児棟 2 階保育園トイレ改修工事 3,520,000 円

・保育園トイレが未だに和式トイレであることから、洋式トイレへの変更のために修繕を実施

(2) アスファルト舗装工事 3,300,880 円

・保育園裏の私道が、損傷並びに劣化しており通行の際に転倒の危険性等があることから修繕を実施

(3) 児童棟 2 階学習室、乳幼児ホーム すみれ・うめ・たんぽぽロールカーテン設置 1,386,000 円

・既存カーテンでは、児童棟は映画鑑賞他の際に、乳児院は昼寝の際に外の光が漏れてきていたことから子ども達が映画鑑賞や昼寝に集中出来なかったことから、今回、遮光カーテンへ切替し子ども達が安心して映画鑑賞他や昼寝を行うために修繕を実施

12 寄付、寄贈について

(1) 寄付

区分	寄付件数	寄付金額	備考
令和 6 年度	241	33,193,673 円	
令和 7 年度	202	22,698,942 円	

(2) 寄贈

区分	寄贈件数	寄贈品の主なもの
令和 6 年度	391	紙パンツ、マスク、衣類などの日用品、米・野菜などの食料品、玩具、絵本
令和 7 年度	414	